

2017年度事業報告書

附属明細書

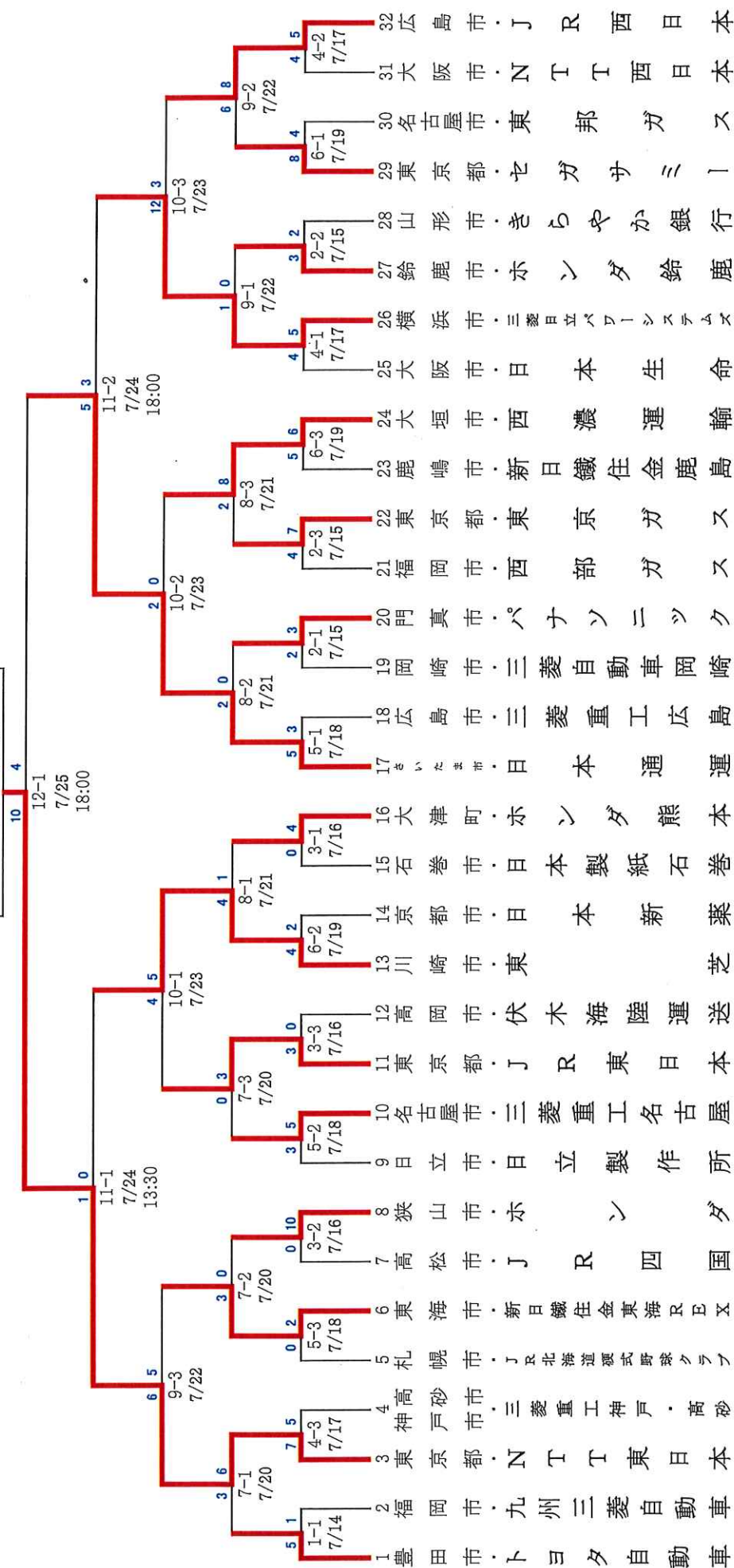
公益財団法人日本野球連盟

第88回都市対抗野球大会

開催期日: 2017年7月14日(金)から12日間 場所: 東京ドーム 出場チーム: 32チーム

初日	18:30	(開会式 16:50)
3試合日	10:30	14:00 18:00
準決勝	13:30	18:00
決勝	18:00	

東京都・NTT東日本
(36年ぶり2回目)



1回戦日程

※1回戦(第2日~第6日)の組合せは、左側から順ではございません。
※若番のチームが1塁側となります。

第 88 回都市対抗野球大会におけるカーボン・オフセット結果報告について

標記につきまして、参加企業様からの協力を頂き、下記のとおり実施致しましたので、報告させていただきます。

1. はじめに

本年 7 月 14 日から 25 日まで開催いたしました「第 88 回都市対抗野球大会」を、環境に配慮した大会とするため、出場企業様にご協力を頂き、大会期間中の運営や選手・観客の移動等に伴い排出される温室効果ガス (CO2) をクレジットにてカーボン・オフセット (埋め合わせ) 致しました。

2. 取り組み内容

4 月より、大会出場企業様への上記ご協力を、依頼させていただきました。その結果、3 社の企業様からクレジットのご提供を頂くことが出来ました。

【クレジット協力依頼内容】

- (1) 募集期間：7 月 1 日 (土) ～7 月 25 日 (火)
- (2) 募集要件：50 トン以上
- (3) 概算総 CO2 排出量：約 3,000 トン (1 試合当たり約 100 トン想定)

【ご協力クレジット量】

- (1) ご協力企業様：3 社 (五十音順)
東邦ガス株式会社・西部ガス株式会社・東京ガス株式会社
- (2) クレジット (カーボン・オフセット) 量
合計 7 5 0 トン CO2

【大会運営に伴う CO2 排出量】

- (1) 算出方法
本会の CO2 排出量は、会場運営、選手関係者および来場者の移動に伴うエネルギー消費により発生するものとします。
 - ・会場運営により発生する CO2 排出量
 - ・選手関係者、来場者の移動によって発生する CO2 排出量
出場社数 16 チーム、25 人／チーム。来場者数 499,000 人
- (2) 大会運営に伴う CO2 総排出量
合計 3, 3 6 4 トン CO2
今回の算出については、J-クレジット制度事務局にご協力頂きました。

結果、本大会で排出された CO2 の一部を、企業様のご協力によりカーボン・オフセットし、環境により配慮した大会とすることが出来ました。

以上

本取り組みにご協力頂き誠にありがとうございました。

1. オリンピック・パラリンピック等経済界協議会について

- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会およびラグビーワールドカップ2019日本大会に向けたムーブメントと、その後に残るレガシーづくりを推進するための協議会です。
(会長: 豊田 経団連オリンピック・パラリンピック等推進委員長)
- 経団連、商工会議所、経済同友会を中心に、経済界が一丸となりオールジャパン体制で推進しています。
- 「ALL JAPAN」と「Toward & Beyond 2020一次世代の日本のためにー」を活動のスローガンとして、文化・ムーブメントや、科学技術・イノベーションに関連する各種プログラムを実行しています。

Toward
&
Beyond
2020

2. 「KEEP THE STADIUM CLEAN」プロジェクトについて

(1) 概要

- 競技会場内で会場美化を呼びかけ、観客の皆様によるゴミ拾いを促すために、ゴミ袋を配布いたします。
⇒『競技会場の美化』を習慣付け、レガシーとして遺すためのプロジェクトです。
⇒競技会場での美化が習慣付き、まち全体や水辺もキレイになることを目指します！



- ①競技会場入口付近で、当協議会ボランティア他が会場美化を呼びかけ、観客の皆様へゴミ袋を配布いたします。
- ②観戦後、観客の皆様がゴミをまとめ、ゴミ置き場に捨てます。

2. 「KEEP THE STADIUM CLEAN」プロジェクトについて

(2) 2016年度実施報告① ～ 野球

① 7月16・26日 都市対抗野球大会「環境デー」&決勝戦(6,000枚) 東京ドーム



② 11月2日 社会人野球日本選手権(4,000枚) 京セラドーム



2. 「KEEP THE STADIUM CLEAN」プロジェクトについて

(3) 2017年度実施報告① ～ 野球

① 7月14・25日 都市対抗野球大会開幕戦&決勝戦(30名・9,500枚) 東京ドーム



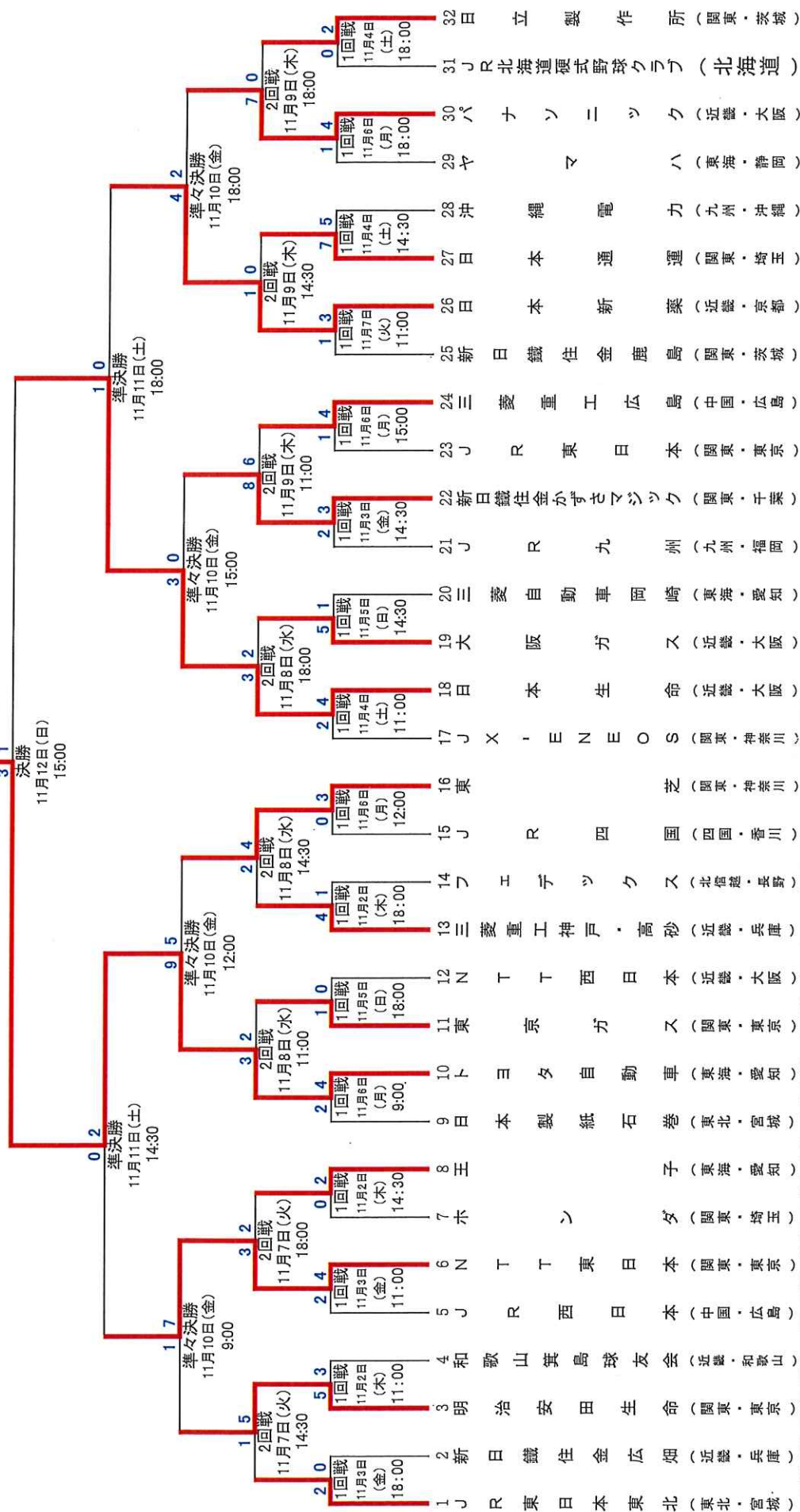
② 11月4日 社会人野球日本選手権(6,000枚) 京セラドーム



日程 2017年11月2日(木)～11日間
会場 京セラドーム大阪

3試合日	11:00	14:30	18:00
4試合日	9:00	12:00	15:00 18:00
2試合日	14:30	18:00	
週末	15:00		

(3大会ぶり5回目の優勝)



※1回戦(第1日第1試合～第6日第1試合)の組合せは、左から順ではごさいませんのご注意下さい。
※ベンチは原則として左側(若番)を一塁側とする。

第42回 全日本クラブ野球選手権大会 組合せ

日 時: 2017年9月1日(金)～4日(月)
場 所: ネットライフドーム

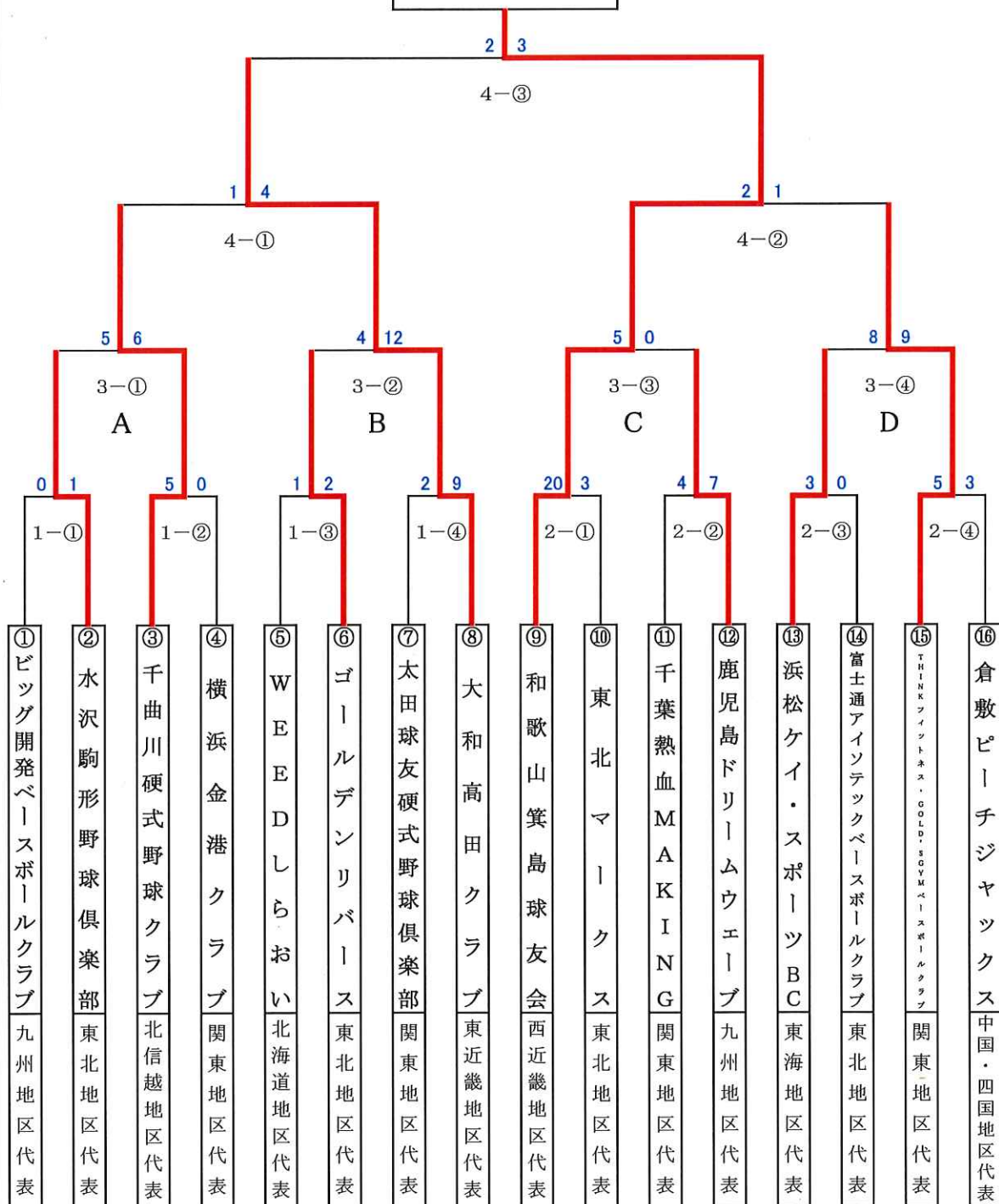
4試合日: ① 9:00 ②11:30
③14:00 ④16:30
3試合日: ① 9:00 ②11:30
③14:00

入場料:無料



優勝

和歌山箕島球友会



2017年度JABA公式大会結果

回数	大会名	期 間	球 場	優勝チーム	準優勝チーム
88	都市対抗野球	7/14～12日間	東 京 ド ー ム	N T T 東 日 本	日 本 通 運
42	全日本クラブ野球選手権	9/1～4日間	メ ッ ト ラ イ フ ド ー ム	和歌山箕島球友会	大 和 高 田 ク ラ ブ
43	社会人野球日本選手権	11/2～11日間	京 セ ラ ド ー ム 大 阪	トヨタ自動車	日 本 生 命

※日本選手権の大会期間については、プロ野球オリックス球団との協議により決定する。

地区連盟主催大会

【日本選手権対象大会】

回数	大会名	期 間	球 場	優勝チーム	準優勝チーム
72	J A B A 東京スポニチ	3/11～4日間	神 宮 ・ 大 田 S ・ 市 営 川 通	トヨタ自動車	H o n d a
64	J A B A 静岡	4/3～5日間	庵 原 ・ 浜 松 球 場	東 京 ガ ス	ヤ マ ハ
46	J A B A 四 国	4/6～5日間	坊 っ ち ゃ ん S ・ マ ド ン ナ S	日 本 新 薬	伯 和 ビ ク ト リ ー ズ
40	J A B A 日立市長杯	4/14～5日間	日 立 市 民 ・ 日 立 会 瀬 球 場	日 立 製 作 所	三菱日立パワーシステムズ
60	J A B A 岡山	4/15～5日間	マ ス カ ッ ト S ・ 倉 敷 市 営	H o n d a	ヤ マ ハ
59	J A B A 長野	4/20～5日間	長 野 オ リ ン ピ ッ ク S ・ 長 野 県 営	新日鐵住金かずさマジック	東 海 理 化
68	J A B A 京都	4/27～5日間	わ か さ S 京 都 ・ 皇 子 山 球 場	N T T 西 日 本	三 菱 重 工 広 島
70	J A B A ベーブルース杯	5/2～5日間	岐 阜 長 良 川 ・ 大 垣 北 公 園 球 場	中 日 ド ラ ゴ ン ズ	東 京 ガ ス
70	J A B A 九州	5/7～5日間	北 九 州 市 民 ・ 北 九 州 市 立 大 谷 球 場	日 本 通 運	S U B A R U
59	J A B A 北海道兼	5/10～5日間	仙 台 市 民 ・ 石 巻 市 民 球 場	日 本 製 紙 石 巻	J R 東 日 本 東 北
48	J A B A 東北				

【その他大会】

回数	大会名	期 間	球 場	優勝チーム	準優勝チーム
59	J A B A 富 山	4/14～3日間	富 山 市 民 ア ル ペ ン S	J R 東 海	伏 木 海 陸 運 送
47	J A B A 徳山スポニチ	5/2～4日間	津 田 恒 実 メ モ リ ア ル S	福山ローズファイターズ	荻 田 ビ ク ト リ ー B C
60	J A B A 新潟	5/2～4日間	ハ ー ド オ フ ・ エ コ S 新 潟	読 売 巨 人 軍	バ イ タ ル ネ ッ ト
29	J A B A 一 関 市 長 旗	7/15～2日間	一 関 運 動 公 園 ・ 東 山 ・ 花 泉 運 動 公 園 ・ 大 東 球 場	W E E D し ら お い	一 関 B C
32	J A B A 高山市長旗	8/14～4日間	高 山 中 山 公 園 ・ 飛 騨 ふ る か わ 球 場	西 濃 運 輸	東 海 R E X
56	J A B A 広 島	8/25～5日間	J R 西 日 本 グ ラ ン ド ・ マ ッ ダ S	広 島 東 洋 カ ー プ	J F E 西 日 本
65	J A B A 伊勢・松阪	9/29～5日間	伊 勢 倉 田 山 ・ 松 阪 球 場	日 本 新 薬	鷺 宮 製 作 所
43	J A B A 高 砂	10/7～3日間	高 砂 ・ 新 日 鐵 住 金 広 畑 球 場	和歌山箕島球友会	O B C 高 島
35	J A B A びわこ杯	10/21～3日間	皇 子 山 ・ 彦 根 ・ 今 津 球 場	天候不良の為、中止	

【地区クラブ大会】

	大会名	期 間	球 場	優勝チーム	準優勝チーム
3	北海道地区クラブ選手権	9/2・3・10	栗 山 町 民 ・ 石 見 沢 市 営	札幌ホーネッツ	小 樽 野 球 協 会
3	東北クラブカップ	9/9～2日間	一 関 運 動 公 園 ・ 東 山 球 場	互大設備ダイヤモンドク	H O K U T O B C
3	北信越クラブカップ	9/30～2日間	長 野 県 営 球 場	千曲川硬式野球ク	ロ キ テ ク ノ B C
10	関東クラブ選手権	9/30～2日間	市 営 浦 和 ・ 越 谷 市 民 球 場	THINKフィットネスGOLD'S GYM BC	全 足 利 ク
3	東海地区クラブ選手権	9/3・23・24・11/23・25	三 菱 大 府 ・ 岡 崎 市 民 ・ 東 邦 ガ ス 空 見 ・ J R 東 海	矢場とんブースターズトン	山 岸 ロ ジ ス タ ー ズ
3	近畿クラブ会長杯	11/18・19・23	N T T 淀 総 合 運 動 場 ・ 大 阪 ガ ス 今 津 総 合 G	奈良Jメンテナンズ野球クラブ	泉 州 大 阪 野 球 団
3	中国・四国クラブ野球選手権	9/2・10・24・10/14	アグリあなんS・東広島S・山口きららD・倉敷市営球場	松 山 フ ェ ニ ッ ク ス	ショウワコーポレーション
12	九州地区クラブ選手権	10/7～2日間	みどりの森県営・佐賀市ブルーS	B A N B C	鹿 児 島 ド リ ー ム ウ ェ ー プ

※ T→トーナメント

L→リーグ戦

LT→リーグ戦・決勝トーナメント方式を採用。

2018年 指導者研修会スケジュール

1月13日(土)	
時 間	内 容
9:30	受 付
10:30～10:35	開会挨拶(5分) 日本野球連盟副会長 大田垣 耕造
10:35～10:45	理事会及び活動報告、スローガン発表(10分) 日本野球連盟 常務理事 筒井 崇護 競技力向上委員会 委員長 高見 泰範
10:45～11:15	規則改正について(30分) 規則・審判委員会 委員長 中本 尚
11:15～11:35	Team of the Year 1 (20分) 都市対抗優勝 NTT東日本 監督 飯塚 智広
11:35～11:55	Team of the Year 2 (20分) 日本選手権優勝監督 トヨタ自動車 監督 桑原 大輔
11:55～12:05	社会人野球における頭頸外傷について(10分) 競技力向上委員会 可知 芳則
12:05～13:00	昼食
13:00～14:00	講演「勝負脳の鍛え方」(60分) 日本大学医学部 林 成之
14:00～14:10	休憩
14:10～14:40	講演「スポーツと環境」(30分) 東海大学体育学部 スポーツ・レジャーマネジメント学科 准教授 大津 克哉
14:40～14:55	全日本関係活動報告(15分) 競技力向上委員会 副委員長 石井 章夫
14:55～15:10	休憩
15:10～15:20	将来構想PT(10分)/常務理事 筒井 崇護
15:20～16:20	グループディスカッション(60分)
16:20～16:30	閉会挨拶(10分) 競技力向上委員会 委員長 高見 泰範

以降17:00～18:30迄懇親会

第60回(2018年)全国審判講習会実施要項【受講生用】

公益財団法人 日本野球連盟 規則・審判委員会

1. 期 日 : 2018年 2月10日(土) ~ 2月12日(月) <2泊3日>
2. 会 場 : 四国コカ・コーラボトリングスタジアム丸亀
〒763-0053 香川県丸亀市金倉975番地 TEL:0877-35-8200
3. 宿 舎 : ホテルオークラ丸亀
〒763-0011 香川県丸亀市藤見町3-3-50 TEL:0877-23-2222
4. 指 導 員 : 日本野球連盟 規則・審判委員会
5. 集 合 時 間 : 2月10日(土) 12:00~受付、12:45~講習会
6. 解 散 : 2月12日(月)講習会終了後、グラウンド解散
※15時頃丸亀駅、高松空港行のバスを手配します。
7. 交通費等精算 : 交通費・宿泊費⇒日本野球連盟負担
※JABA指定の旅行会社にて飛行機・新幹線・特急などのチケットを手配を致します。
1月10日(水)までに日新航空サービスへご連絡お願いいたします。
また、申し込まれたチケットは、日新航空から直接ご自宅へ送付いたします。
旅行会社:日新航空サービス 川路 亜由美 TEL:03-5358-1661 FAX:03-5358-1888
E-mail:baseball@nissin-trvl.co.jp
混雑など予想される為、受講者が決定次第、早急にご連絡頂くようお願い致します。

※主要駅、空港までの交通費ならびに、自家用車で来場等の精算は各自
ご負担となりますのでご了承ください。
8. 持 参 品 : ・審判用具一式、公認野球規則(ルールブック)、審判メカニクスハンドブック第4版
・審判講習会マニュアル、キャンプゲームマニュアル⇒全日本野球協会HPに掲載
9. そ の 他 : ・初日は高松空港と丸亀駅にてバスを手配いたします。時間や集合場所については、
後日ご案内いたします。
・荷物を送る場合は、【2月9日AM指定】にて以下住所へ直送ください。
また、送付状の品名には【日本野球連盟】と記載していただきますようお願いいたします。
四国コカ・コーラボトリングスタジアム丸亀
〒763-0053 香川県丸亀市金倉975番地 TEL:0877-35-8200
宅急便代につきましては、個人にてご負担願います。
※宿舎には、10日講習終了後到着となります。
※宿舎内にコインランドリー(洗濯機2台、乾燥機2台)があります。

【問合わせ先】日本野球連盟

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12サピアタワー内
TEL:03-3213-6776 FAX:03-3201-0707

第28回BFAアジア選手権 社会人日本代表メンバー

役職	背番号	氏 名	備考
団 長		坂 口 雅 久	全日本野球協会
監 督	71	石 井 章 夫	東京ガス
コーチ	72	棚 橋 祐 司	王子
コーチ	73	若 林 重 喜	JX-ENEOS
コーチ	74	杉 浦 正 則	日本生命
トレーナー		草 場 昭 宏	トヨタ自動車
トレーナー		土 肥 崇 嗣	日本通運
マネージャー		佐 藤 栄 一	日本野球連盟
審 判		大 都 篤	大阪府野球連盟

ポジション	背番号	氏 名	生年月日	投・打	所属チーム	出身校	
						高校	大学
投手	11	渡 邊 啓 太	93.9.13	右・右	N T T 東 日 本	いわき光洋高	神奈川工科大
投手	13	鈴 木 健 矢	97.12.11	右・左	J X - E N E O S	木更津総合高	
投手	14	平 尾 奎 太	94.6.21	左・左	H o n d a 鈴 鹿	大阪桐蔭高	同志社大
投手	15	阿 部 良 亮	92.9.7	右・左	日 本 通 運	浦和学院高	東 洋 大
投手	16	鈴 木 博 志	97.3.22	右・右	ヤ マ ハ	磐田東高	
投手	17	田 嶋 大 樹	96.8.3	左・左	J R 東 日 本	佐野日大高	
投手	18	谷 川 昌 希	92.10.6	右・右	九 州 三 菱 自 動 車	筑陽学園高	東京農業大
投手	19	佐 竹 功 年	83.10.14	右・右	ト ヨ タ 自 動 車	土 庄 高	早稲田大
捕手	22	山 内 佑 規	88.9.9	右・右	東 京 ガ ス	桐蔭学園高	明 治 大
捕手	24	大 城 卓 三	93.2.11	右・左	N T T 西 日 本	東海大相模高	東 海 大
捕手	27	木 南 了	92.4.10	右・右	日 本 通 運	千葉経済大附高	帝 京 大
捕手	36	細 山 田 武 史	86.4.29	右・右	ト ヨ タ 自 動 車	鹿児島城西高	早稲田大
内野手	2	田 中 俊 太	93.8.18	右・左	日 立 製 作 所	東海大相模高	東 海 大
内野手	4	北 村 祥 治	94.1.23	右・右	ト ヨ タ 自 動 車	星 稜 高	亜 細 亜 大
内野手	6	渡 邊 貴 美 男	88.11.12	右・左	J X - E N E O S	文星芸大附高	国 学 院 大
内野手	7	藤 岡 裕 大	93.8.8	右・左	ト ヨ タ 自 動 車	岡山理大附高	亜 細 亜 大
内野手	8	福 田 周 平	92.8.8	右・左	N T T 東 日 本	広 陵 高	明 治 大
内野手	9	若 林 晃 弘	93.8.26	右・両	J X - E N E O S	桐蔭学園高	法 政 大
内野手	10	伊 礼 翼	90.2.11	右・左	王 子	読 谷 高	九 州 共 立 大
外野手	1	神 里 和 毅	94.1.17	右・左	日 本 生 命	糸 満 高	中 央 大
外野手	3	長 谷 川 拓 真	92.5.13	右・右	J R 東 日 本	東海大菅生高	国 際 武 道 大
外野手	23	佐 藤 旭	92.10.9	右・右	東 芝	慶應義塾高	慶 応 義 塾 大
外野手	25	菅 野 剛 士	93.5.6	右・左	日 立 製 作 所	東海大相模高	明 治 大
外野手	28	笹 川 晃 平	94.4.21	右・右	東 京 ガ ス	浦和学院高	東 洋 大

アジアウインターリーグ派遣選手行程表

		N=3 W=3 K=2 C=1		N=4 W=1 K=1 C=2		NPB(W) WBSC 5位決 準決 決勝 決勝												備考													
		NPBW WBSC KBO		CPBL NPB(W) WBSC KBO NPB(W) WBSC		NPB(W) WBSC KBO NPB(W) WBSC		NPB(W) WBSC KBO NPB(W) WBSC		NPB(W) WBSC KBO NPB(W) WBSC		NPB(W) WBSC KBO NPB(W) WBSC		NPB(W) WBSC KBO NPB(W) WBSC		NPB(W) WBSC KBO NPB(W) WBSC		備考													
氏名	生年月日	ポジション	所属チーム名	1122	1125	1126	1127	1128	1129	1130	1201	1202	1203	1204	1205	1206	1207	1208	1209	1210	1211	1212	1213	1214	1215	1216	1217	1218			
1 角田 浩斗	93.1.7	P	SUBARU	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
2 生田目 寛	95.2.19	P	日本通運																												
3 堀 誠	95.2.27	P	NTT 東日本																												
4 日井 浩	94.4.2	P	東京ガス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
5 宮谷 陽介	91.11.15	P	東京ガス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
6 鈴木 健矢	97.12.11	P	JX-ENEOS																												
7 岡野 祐一郎	94.4.16	P	東芝	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
8 大野 亨輔	93.11.21	P	MHPS																												
9 本多 裕哉	93.6.21	P	MHPS	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
10 勝野 昌彦	97.6.12	P	三菱重工名古屋																												
11 若林 寛志	94.1.5	P	JR 東海																												
12 平尾 達太	94.6.21	P	Honda鈴鹿	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
13 越後 廣之	93.4.28	P	大阪ガス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
14 高橋 拓巳	94.6.20	P	日本生命	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
15 吉川 峻平	95.1.24	P	パナソニック	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
16 坂本 光太郎	94.9.9	P	新日鐵住金広畑	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
17 荒西 祐大	92.8.25	P	Honda 熊本	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
投手計				9	9	9	9	11	11	11	11	11	11	11	17	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
18 木原 了	92.4.10	C	日本通運	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
19 辻野 雄大	93.6.16	C	Honda																												
20 松浦 世那	97.6.3	C	Honda鈴鹿	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
捕手計				2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
21 地引 雄貴	90.6.25	1B	東京ガス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
22 伊礼 翼	90.2.11	1B	王子																												
23 久保 皓史	93.8.11	2B	MHPS																												
24 原田 拓実	91.6.2	2B	日本生命	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
25 北川 利生	93.5.11	3B	日本通運	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
26 小室 秀未	94.10.2	3B	JR 東日本																												
27 松本 桃太郎	94.11.11	3B	Honda 鈴鹿	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
28 北村 祥治	94.1.23	3B	トヨタ自動車	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
29 青柳 匠	89.12.7	3B	大阪ガス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
30 堀米 潤平	93.4.18	SS	東芝	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
31 田村 強	93.9.6	SS	J R 西日本																												
内野手計				6	6	6	6	8	8	8	8	8	8	10	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8		
32 増川 航太	93.7.11	OF	J R 北海道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
33 長谷川 拓真	92.5.13	OF	JR 東日本																												
34 佐川 晃平	94.4.21	OF	東京ガス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
35 佐藤 旭	92.10.9	OF	東芝	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
36 矢崎 勇人	90.5.23	OF	ヤマハ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
37 中澤 彰太	94.12.2	OF	JFE 東日本	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
38 長池 誠樹	93.4.25	OF	Honda熊本																												
外野手計				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
合計				22	22	22	22	26	26	26	26	26	26	36	36	23	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	
入国数				22				4							10		2														
出国数				0				0							13		0														

2018 年公益財団法人日本野球連盟主催

第4回 ティーボール教室 in 東京ドーム

参加費無料

親子でチャレンジ
公益財団法人日本野球連盟主催
第3回ティーボール教室
in 東京ドーム

親子でチャレンジ!
楽しさ2倍!

第3回教室も、
親子で楽しく
盛り上がりました

ティーボールは、ティーにおいてあるボールを打つ「ピッチャーのいない野球」です。
小さなお子さまでもボールを打って飛ばして楽しめる、注目のスポーツです。
第4回も、みんなの憧れドームで行います!

2018年

日時 7月24日(火)

AM 10:00~12:00
(受付開始 AM9:00~)

[申込締切日]
6月27日(水)

会場 東京ドーム

(東京都文京区後楽1丁目3番61号)

※受付場所は、「正面22番ゲート」です。

※駐車場の準備はございませんので、公共交通機関でお越しください。

対象 文京区の園児と保護者(約700組)

※保護者の同伴されない園児は、参加できません。

※ご兄弟・ご姉妹の小学生も参加可能です。

※希望者は、なるべくお早めにお申し込みください。

※お申込みいただいた方には、後日注意事項等のご連絡を保護者様宛に致します。

内容 「ティーボール」や「親子体操」
など親子で楽しめるイベントです



ティーボールについては、「NPO法人日本ティーボール協会」のHPにも詳しく掲載されています。
QRコードよりアクセスしてください。

申込

裏面の申込欄に記入の上、お申込みください。

(定員になり次第、申込みは終了させていただきます)

持ち物

- ・運動のできる動きやすい服装着用
 - ・履き慣れた運動靴(ヒール禁止)
 - ・水筒 ・タオルなど
- ※グラウンド内は飲食禁止です

その他

※当日は万全の体調でご参加ください。怪我の場合、応急処置はいたしますがその後の治療、保険につきましては各自対応とさせていただきます。

※個人情報、当企画運営に必要な範囲に限定して収集・利用・提供・預託・委託します。

※警報やその他の災害が発生した場合、開催を中止させていただくことがございます。
(ご確認はお問い合わせ先まで)

主催/公益財団法人日本野球連盟 共催/NPO法人日本ティーボール協会

後援/公益財団法人日本オリンピック委員会、文京区、一般財団法人全日本野球協会、毎日新聞社

協力/ナガセケンコー(株)、(株)ジャクパ(ジャクパ・スポーツクラブ)、一般社団法人日本女子プロ野球機構

お問い合わせ先

公益財団法人日本野球連盟 事務局(担当: 佐藤栄一)

TEL 03-3213-6776

受付時間 AM10:00 ~ PM4:00 (月~金)

U-15アジアチャレンジマッチ2017 日本代表

No.	役職	名前	所属リーグ	所属チーム
35	監督	清水 隆行		巨人軍OB
40	コーチ	徳元 敏	リトルシニア	東練馬リトルシニア
41		堀田 将司	ボーイズ	愛知港ボーイズ

No.	ポジション	名前	所属リーグ	所属チーム	地域	投	打
1	投手	仲三河 優太	ボーイズ	小山ボーイズ	栃木	右	左
11		諸隈 惟大	リトルシニア	佐倉リトルシニア	千葉	左	左
14		藤田 修	リトルシニア	佐倉リトルシニア	千葉	左	左
16		和田 育也	ヤング	南国ヤングマリナーズ	高知	右	右
17		高田 隼之介	フレッシュ	フレッシュ串木野ドリームズ	鹿児島	右	左
18		深浦 幹也	ポニー	福岡フェニックス	福岡	左	左
2	捕手	中井 大我	リトルシニア	浦和リトルシニア	埼玉	右	左
10		二村 颯馬	ボーイズ	岐阜東ボーイズ	岐阜	右	右
12		佐藤 尊将	リトルシニア	神戸中央リトルシニア	兵庫	右	右
3	内野手	山村 崇嘉	リトルシニア	武蔵府中リトルシニア	東京	右	左
4		度会 隆輝	リトルシニア	佐倉リトルシニア	千葉	右	左
5		小倉 奨真	ボーイズ	小山ボーイズ	栃木	右	右
6		南雲 壱太	リトルシニア	浦和リトルシニア	埼玉	右	左
13		安達 壮汰	ボーイズ	志村ボーイズ	東京	左	左
15		柳野 友哉	リトルシニア	神戸中央リトルシニア	兵庫	右	右
7	外野手	両井 大貴	ボーイズ	松原ボーイズ	大阪	右	左
8		朝井 優太	ボーイズ	小山ボーイズ	栃木	右	左
9		小川 雄剛	リトルシニア	浦和リトルシニア	埼玉	右	左

第4回 WBSC U-12ワールドカップ 日本代表

	役職	名前	所属
	団長	三田 正志	リトルリーグ
	監督	仁志 敏久	NPBエンタープライズ
	コーチ	江尻 慎太郎	NPBエンタープライズ
	コーチ	岑 和幸	ボーイズリーグ
	コーチ	孫山 昇太郎	リトルリーグ
	トレーナー	川島 浩史	
	サポートスタッフ	高田 正也	ヤングリーグ
	サポートスタッフ	久保田 悠介	フレッシュリーグ

NO	ポジション (上位5つ)	氏名	学年	リーグ	チーム名	備考	投打	身長	体重
1	P,SS,OF,2B,3B	戸沢 快生	小6	リトルリーグ	秋田ファイターズ	秋田	右右	164	50
2	P,2B,SS,3B,OF	山田 脩也	小6	リトルリーグ	荒町タイガース	宮城	右右	156	45
3	P,3B,SS,C,1B	堀内 謙吾	小6	リトルリーグ	寿庄内ジャガース	長野	右右	159	50
4	C,P,SS,2B	太田和 煌翔	中1	リトルリーグ	千葉市リトル	千葉	右左	154	45
5	P,C,3B,SS,OF	大塚 光竜	小6	リトルリーグ	目黒西リトル	東京	右右	157	53
6	P,1B,OF	加藤 達哉	小6	リトルリーグ	武蔵府中リトル	東京	左左	153	45
7	C	吉田 耀	中1	ボーイズ	相模ボーイズ	神奈川	右左	164	55
8	P,OF,3B	山口 滉起	中1	リトルリーグ	大阪東リーグ	大阪	右右	160	67
9	C,P,3B	中島 大成	中1	リトルリーグ	大阪南リトル	大阪	右右	148	52
10	C,P,1B,SS,OF	米澤 康太	小6	リトルリーグ	枚方リーグ	大阪	右右	164	63
11	P,SS	加藤 滉大	中1	リトルリーグ	名東千種リトル	愛知	右右	152	43
12	SS,1B,3B,RF	岡田 光平	中1	ボーイズ	ナガセボーイズ	大阪	右左	165	50
13	1B,3B,P,C	記 虎太郎	中1	ボーイズ	大阪八尾ボーイズ	大阪	右右	158	57
14	SS,C	戸井 零士	中1	ボーイズ	松原ボーイズ	大阪	右右	164	52
15	C,1B,RF	森 大輔	中1	ボーイズ	中百舌鳥ボーイズ	大阪	右右	159	48
16	SS,2B,3B	徳永 光希	中1	ボーイズ	香芝ボーイズ	奈良	右左	153	43
17	P,1B	南澤 佑音	中1	ボーイズ	大東畷ボーイズ	大阪	右左	173	60
18	P,OF	大山 陽生	中1	ボーイズ	広島安佐ボーイズ	広島	右右	163	53

第1回BFA女子野球アジアカップ 日本代表メンバー

	背番号	氏名	学年(監督コ-チは年時)	所属	投打	身長
監督	57	橘田恵	34	履正社高等学校	-	-
コ-チ	55	田代恭規	53	作新学院高等学校	-	-
	59	長野恵利子	43	福知山成美高等学校	-	-
	60	齋藤賢明	60	埼玉栄高等学校	-	-
投手	11	松島瑠奈	③	履正社高等学校	左左	162
	15	水流麻夏	③	神戸弘陵高等学校	左左	162
	17	田中志緒梨	③	埼玉栄高等学校	左左	165
	18	今井巴菜	③	神村学園高等部	左左	161
	19	姫野真由	③	花崎徳栄高等学校	右右	162
	21	大野七海	③	福知山成美高等学校	右右	167
	49	小田嶋真美	③	横浜隼人高等学校	左左	168
捕手	2	緒方佑華	③	折尾愛真高等学校	右右	166
	13	金満梨々那	③	開志学園高等学校	右右	165
	22	遠藤佳菜子	②	作新学院高等学校	右左	162
内野手	3	小野あゆみ	②	埼玉栄高等学校	右右	173
	5	蛭田菜月	③	埼玉栄高等学校	右右	160
	23	阿部希	③	福知山成美高等学校	右右	157
	27	蜜浦さくら	②	履正社高等学校	右右	160
	52	吉井温愛	③	履正社高等学校	右左	158
外野手	1	安達瑠	③	京都両洋高等学校	左左	155
	24	池本歩莉	②	埼玉栄高等学校	右右	167
	25	北山未来	③	履正社高等学校	右右	161
	37	杉本みな	③	蒲田女子高等学校	左左	161
	77	渡辺那奈	②	作新学院高等学校	右左	158

第9回 B F A U-15 アジア野球選手権大会 日本代表チーム

2017. 10. 11

役員一覧表

背番号	役職	氏 名	フリガナ	所属等
	団長	元 主 浩 一	モトヌシ コウイチ	福岡市立東光中学校 校長
30	監督	伊 藤 将 啓	イトウ ノブヒロ	習志野市立第一中学校 教諭
29	コーチ	大 内 啓 至	オオウチ ヒロユキ	水戸市立第一中学校 教諭
28	コーチ	坂 脇 寛 人	サカワキ ヒロト	横浜市立青葉台中学校 教諭
38	コーチ	武 田 勝	タケダ マサル	石川ミリオンスタース ヴァイスプレジデント兼総合コーチ

選手一覧表

背番号	ポジション	氏 名	フリガナ	学校名	身長	体重	投	打	生年月日			県名
11	投手	寺 西 成 騎	テラニシ ナルキ	能美市立根上中	185	75	右	右	2002	10	18	石川県
16	投手	宮 本 拓 実	ミヤモト タクミ	仙台育英学園秀光中	180	75	右	左	2002	8	3	宮城県
17	投手	荻 原 吟 哉	オギハラ ギンヤ	星稜中	168	61	右	右	2002	10	5	石川県
18	投手	根 本 悠 楓	ネモト ハルカ	白老町立白翔中	168	70	左	左	2003	3	31	北海道
19	投手	濱 田 世	ハマダ セイ	高知中	180	70	右	右	2002	10	2	高知県
20	投手	清 水 惇	シミズ ジュン	高崎市立長野郷中	172	67	右	右	2002	7	21	群馬県
22	捕手	菅 谷 真 之 介	スガヤ シンノスケ	船橋市立七林中	165	60	右	左	2002	11	5	千葉県
27	捕手	内 山 壮 真	ウチヤマ ソウマ	星稜中	172	65	右	右	2002	6	30	石川県
2	内野手	米 永 大 基	ヨネナガ ダイキ	川越市立城南中	165	62	右	左	2003	1	14	埼玉県
3	内野手	鎌 田 州 真	カマダ シュウマ	大田区立志茂田中	182	68	右	左	2002	6	12	東京都
5	内野手	山 城 航 太 郎	ヤマシロ コウタロウ	福岡市立高宮中	178	62	右	右	2002	9	3	福岡県
6	内野手	長 谷 川 優 也	ハセガワ ユウヤ	新潟市立黒崎中	173	64	右	右	2002	8	6	新潟県
7	内野手	神 里 陸	カミザト リク	南風原町立南星中	167	63	右	両	2002	5	3	沖縄県
8	内野手	山 田 将 義	ヤマダ マサヨシ	駿台学園中	175	70	右	左	2002	8	26	東京都
10	内野手	高 橋 凌	タカハシ リョウ	船橋市立七林中	175	81	右	右	2002	5	13	千葉県
1	外野手	功 刀 史 也	クヌギ フミヤ	南アルプス市立白根巨摩中	168	63	右	左	2002	9	2	山梨県
9	外野手	加 藤 陸 久	カトウ リク	開成町立文命中	167	65	右	右	2002	4	24	神奈川県
24	外野手	平 尾 柊 翔	ヒラオ シュウト	上尾市立大石南中	173	65	右	左	2003	2	18	埼玉県

※プロフィール等の詳細は「侍ジャパンオフィシャルサイト」下記URLをご覧ください。

<http://www.japan-baseball.jp/jp/team/15u/>

加盟チーム数の推移

2018年2月末現在

		S24	S38	S53	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
北海道	会社	11	18	10	7	7	6	4	4	4	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
	クラブ	9	3	3	11	12	15	15	15	15	15	16	17	15	15	14	14	14	14	14	14	14	15	15
	合計	20	21	13	18	19	21	19	19	19	19	20	20	18	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16
東北	会社	17	19	19	21	19	16	14	14	14	10	9	10	10	9	10	10	9	11	10	10	9	9	9
	クラブ	26	26	58	77	74	81	80	79	76	76	77	77	76	73	72	72	59	71	71	74	70	70	69
	合計	43	45	77	98	93	97	94	93	90	86	86	87	86	82	82	82	68	82	81	84	79	79	78
北信越	会社	12	21	7	6	6	3	4	4	4	4	4	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	会社扱				1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	クラブ	22	8	16	20	19	22	20	20	19	19	22	21	21	20	19	19	19	18	19	17	17	17	17
	合計	34	29	23	27	26	26	25	24	23	24	27	26	27	26	24	23	23	22	23	21	21	21	21
関東	会社	52	47	49	31	28	25	24	22	19	18	18	20	20	21	20	18	18	18	18	18	19	20	20
	会社扱									1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
	クラブ	36	18	30	58	60	62	67	69	66	69	75	81	80	81	79	80	77	79	80	78	74	74	77
	合計	88	65	79	89	88	87	91	91	86	88	94	102	101	103	100	100	97	99	100	98	95	96	99
東海	会社	17	30	19	20	17	16	16	14	14	13	14	14	13	11	12	12	13	13	13	13	13	13	13
	会社扱													1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	クラブ	11	8	12	15	15	15	15	17	15	13	14	15	14	13	13	13	14	14	15	14	14	16	17
	合計	28	38	31	35	32	31	31	31	29	26	28	29	28	25	26	26	28	28	29	28	28	30	31
近畿	会社	36	48	34	24	23	17	16	15	13	11	11	11	10	10	9	9	9	9	9	10	10	10	10
	会社扱				2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	3	2	2	2
	クラブ	15	6	6	14	15	19	20	19	21	25	28	31	34	33	34	36	37	37	39	39	39	39	39
	合計	51	54	40	40	40	38	38	36	35	37	40	43	46	45	45	48	49	49	51	52	51	51	51
中国	会社	15	19	16	14	12	11	11	9	7	5	5	5	6	7	7	7	7	7	7	6	6	7	7
	会社扱				3	3	3	2	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	クラブ	21	2	2	3	5	7	9	9	9	9	11	13	13	11	11	11	13	13	13	12	12	10	10
	合計	36	21	18	20	20	21	22	19	17	16	18	20	21	19	19	19	21	21	21	19	19	18	18
四国	会社	15	18	8	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3
	クラブ	1	1	3	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2
	合計	16	19	11	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
九州	会社	21	17	17	9	8	7	7	7	7	6	8	7	7	7	9	8	8	9	9	9	9	9	8
	会社扱				1	2	2	2	2	2	3	3	3	4	4	5	4	4	5	5	5	5	6	6
	クラブ	5	4	1	2	2	4	5	4	3	4	6	18	19	19	18	19	18	19	18	18	18	19	20
	合計	26	21	18	12	12	13	14	13	12	13	17	28	30	30	32	31	30	33	32	32	32	34	34
合計	会社	196	237	179	135	123	103	98	91	84	73	75	76	76	74	75	72	72	75	75	75	75	76	75
	会社扱				7	8	8	7	5	5	8	8	8	11	10	11	11	11	12	12	12	11	12	12
	クラブ	146	76	131	201	203	227	233	233	226	232	251	276	275	268	263	267	254	268	271	268	260	262	266
	合計	342	313	310	343	334	338	338	329	315	313	334	360	362	352	349	350	337	355	358	355	346	350	353

※活動休止チームは除く

※会社扱は専門学校等

2017年度加盟チーム数及び登録者数

		加盟チーム数						登録者数				
地区	加盟団体	会社		クラブ		合計数	休止数	役員数	競技者数			合計数
		活動	休止	活動	休止				会社	クラブ	合計	
北海道		—	—	—	—	—	—	71	—	—	—	71
	北海道	1	0	15	0	16	0	0	38	468	506	506
計		1	0	15	0	16	0	71	38	468	506	577
東北		—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
	岩手	2	0	25	0	27	0	262	67	811	878	1,140
	宮城	3	0	10	0	13	0	58	103	345	448	506
	福島	0	0	19	3	19	3	125	0	668	668	793
	青森	1	0	4	1	5	1	61	31	140	171	232
	秋田	2	0	8	0	10	0	92	79	299	378	470
	山形	1	0	3	0	4	0	138	35	102	137	275
計		9	0	69	4	78	4	737	315	2,365	2,680	3,417
北信越		—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	0
	石川	0	0	1	0	1	0	4	0	32	32	36
	長野	1	0	4	0	5	0	54	34	117	151	205
	新潟	2	0	9	0	11	0	63	62	310	372	435
	富山	1	0	2	0	3	0	41	27	52	79	120
	福井	0	0	1	0	1	0	3	0	31	31	34
計		4	0	17	0	21	0	165	123	542	665	830
関東		—	—	—	—	—	—	7	—	—	—	7
	東京	7	0	13	0	20	0	64	258	632	890	954
	神奈川	3	2	12	2	15	4	78	134	601	735	813
	千葉	3	0	6	0	9	0	55	119	269	388	443
	埼玉	4	0	14	0	18	0	46	158	551	709	755
	茨城	4	1	9	0	13	1	52	184	293	477	529
	栃木	0	0	8	0	8	0	63	0	278	278	341
	群馬	1	0	6	0	7	0	43	38	174	212	255
	山梨	0	0	9	0	9	0	36	0	320	320	356
計		22	3	77	2	99	5	444	891	3,118	4,009	4,453
東海		—	—	—	—	—	—	50	—	—	—	50
	愛知	9	0	6	0	15	0	10	340	224	564	574
	静岡	1	2	6	0	7	2	25	37	230	267	292
	三重	2	0	4	0	6	0	9	69	156	225	234
	岐阜	2	0	1	0	3	0	8	45	32	77	85
計		14	2	17	0	31	2	102	491	642	1,133	1,235
小計		50	5	195	6	245	11	1,519	1,858	7,135	8,993	10,512

		加 盟 チ ー ム 数						登 録 者 数				
地区	加盟団体	会社		クラブ		合計数	休止数	役員数	競技者数			合計数
		活動	休止	活動	休止				会社	クラブ	合計	
近 畿		—	—	—	—	—	—	6	—	—	—	6
	大 阪	5	0	7	0	12	0	40	196	280	476	516
	兵 庫	2	1	6	0	8	1	12	62	247	309	321
	滋 賀	2	0	6	0	8	0	15	112	185	297	312
	京 都	3	0	11	0	14	0	40	96	368	464	504
	和歌山	0	0	1	0	1	0	10	0	43	43	53
	奈 良	0	0	8	0	8	0	6	0	229	229	235
計		12	1	39	0	51	1	129	466	1,352	1,818	1,947
中国		—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
	岡 山	2	0	2	1	4	1	59	55	65	120	179
	広 島	6	0	2	0	8	0	40	216	57	273	313
	山 口	0	0	5	0	5	0	29	0	161	161	190
	鳥 取	0	0	0	1	0	1	11	0	0	0	11
	島 根	0	0	1	0	1	0	8	0	28	28	36
計		8	0	10	2	18	2	148	271	311	582	730
四国		—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	3
	徳 島	0	0	1	0	1	0	19	0	28	28	47
	高 知	1	0	0	0	1	0	17	23	0	23	40
	香 川	2	0	0	0	2	0	26	52	0	52	78
	愛 媛	0	0	1	0	1	0	15	0	30	30	45
計		3	0	2	0	5	0	80	75	58	133	213
九州		—	—	—	—	—	—	13	—	—	—	13
	福 岡	6	1	6	0	12	1	63	251	221	472	535
	熊 本	3	0	1	0	4	0	42	98	50	148	190
	長 崎	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	2
	大 分	1	0	3	0	4	0	37	35	101	136	173
	宮 崎	2	0	2	0	4	0	30	62	72	134	164
	佐 賀	0	0	2	0	2	0	33	0	57	57	90
	鹿児島	0	0	2	0	2	0	26	0	76	76	102
	沖 縄	2	0	4	0	6	0	19	69	151	220	239
計		14	2	20	0	34	2	265	515	728	1,243	1,508
加盟全国団体	日本リトルリーグ 野球協会	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	8
	日本リトルシニア 中学硬式野球協会	—	—	—	—	—	—	25	—	—	—	25
	KWB野球連盟	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	3
	日本少年 野球連盟	—	—	—	—	—	—	22	—	—	—	22
	全日本女子 野球連盟	—	—	—	—	—	—	14	—	—	—	14
	全日本少年 硬式野球連盟	—	—	—	—	—	—	25	—	—	—	25
	日本ボニー ベースボール	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	8
計		—	—	—	—	—	—	105	—	—	—	105
小計		37	3	71	2	108	5	727	1,327	2,449	3,776	4,503
合計		87	8	266	8	353	16	2,246	3,185	9,584	12,769	15,015

2017年度加盟チームの変更事項

〔1〕新規加盟チーム……5チーム

2018年2月末現在

承認日	加盟チーム	種別	加盟地方団体	地区連盟
3/29	宮崎灼熱フェニックス	クラブ	宮崎	九州
6/19	山岸ロジスターズ	クラブ	静岡	東海
2018/1/19	スクールパートナー	会社	静岡	東海
2018/1/26	BANDITS BASEBALL CLUB	クラブ	富山	北信越
2018/1/26	熊本ヒゴボックス	クラブ	熊本	九州

〔2〕活動休止……3チーム

承認日	加盟チーム	種別	加盟地方団体	地区連盟
2018/1/19	近江八幡野球クラブ	クラブ	滋賀	近畿
2018/1/26	大泉硬友野球クラブ	クラブ	群馬	関東
2018/1/26	明野レジェンズ	クラブ	三重	東海

〔3〕解散・脱退……4チーム

承認日	加盟チーム	種別	加盟地方団体	地区連盟
3/16	オール青森クラブ	クラブ	青森	東北
2018/1/16	WEED BASEBALL CLUB	クラブ	岡山	中国
2018/1/16	沖縄金武イーグルス	クラブ	沖縄	九州
2018/2/19	四端野球クラブ	クラブ	岩手	東北

〔4〕チーム種別変更……1チーム

承認日	チーム名	新種別(会社・クラブ)	旧種別(会社・クラブ)
3/13	シンセリティー	クラブ	会社

〔5〕チーム名称変更……5チーム

承認日	新チーム名	旧チーム名	加盟地方団体	地区連盟
3/29	SUBARU	富士重工業	群馬	関東
9/28	東京LBC	TOKYO BAY LUSTERS	東京	関東
2018/1/12	苅田ビ'外リ-ズ'	苅田ビ'外リ-ズ'ベースボールクラブ'	福岡	九州
2018/2/5	GOOD・JOB硬式野球クラブ	YGSダイヤモンドズ(シンセリティー・グランドスラム)	山梨	関東
2018/2/19	秋田GLANZ	ノースアジア大校友クラブ	秋田	東北

※加盟チーム数の推移

	2017年度末	2018年4月23日現在	増 減
会社	87	93	+6
クラブ	266	263	-3(新加盟3、解散・休部等6)
計	353	356	

※増の内訳

【会社チーム】

新 規 SUNホールディングス(埼玉)
 エイジェック(栃木)
 Mr. KINJO(沖縄)
 北海道ガス(北海道)
 活動再開 茨城トヨペット(茨城)
 種別変更 室蘭シャークス(北海道)

【クラブチーム】

新 規 ジェイエフエフシステムズ硬式野球部(兵庫)
 全新潟ブラックス(新潟)
 BCCジェッツ(奈良)

JABA会員 都道府県別一覧

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
北海道	19	205	183	139	285	305
青森	63	58	59	67	68	74
岩手	101	259	316	223	408	403
宮城	56	244	228	198	288	293
秋田	59	205	154	154	154	194
山形	5	7	48	4	37	59
福島	8	148	110	63	162	228
長野	69	124	118	106	156	169
新潟	70	163	147	157	216	239
富山	55	86	99	112	143	124
石川	4	10	14	9	16	17
福井	0	10	10	0	33	13
茨城	107	210	253	308	555	607
栃木	5	72	35	41	94	171
群馬	67	155	113	106	290	285
埼玉	147	259	294	384	519	590
千葉	93	279	301	346	454	469
東京	194	660	657	870	1174	1311
神奈川	107	381	283	321	633	726
山梨	4	50	14	14	101	131
静岡	81	140	94	105	172	174
愛知	110	470	434	484	585	659
岐阜	56	90	104	103	134	121
三重	85	114	105	91	158	141

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
滋賀	1	108	76	84	169	182
京都	15	178	23	173	259	257
大阪	52	329	314	232	408	408
兵庫	24	176	104	80	237	231
和歌山	6	18	18	18	27	20
奈良	90	151	55	53	100	115
岡山	50	82	36	87	129	162
広島	50	236	218	170	241	259
山口	7	71	48	50	78	89
島根	1	9	11	6	11	12
鳥取	0	16	15	6	12	12
香川	57	103	114	70	111	85
愛媛	12	32	31	24	27	26
徳島	2	14	19	19	31	32
高知	0	32	50	40	41	44
福岡	10	283	327	254	356	400
佐賀	0	8	31	29	56	58
大分	2	97	73	84	98	116
長崎	4	67	33	36	63	32
熊本	4	10	70	103	147	149
宮崎	0	91	90	89	104	111
鹿児島	2	6	19	3	53	53
沖縄	5	103	110	106	143	124
	1,959	6,619	6,058	6,221	9,736	10,480

2017年度クラブ野球活性化委員会活動報告

1. 委員会の開催

7月15日、11月5日

2. 協議事項

(1) クラブ選手権優勝チームの日本選手権出場権の是非について

(2) クラブ選手権の平日開催について

(3) クラブチームの現状と課題について

将来構想プロジェクトチームからの要請を受けて報告書を提出（別添参照）

3. 事業の実施

(1) 第42回全日本クラブ野球選手権大会について

9月1日（金）～4日（月）にメットライフドームにて開催、和歌山箕島球友会（近畿）が4回目の優勝。第43回社会人野球日本選手権大会に出場した。

(2) クラブチーム技術研修会の開催

各開催地地区連盟主催により以下のとおり技術研修会を開催し、競技力向上委員会委員等を講師として派遣した。

研 修 会 名	期 間	球 場	選 手	講 師
東北クラブ研修会	7/8	平川市尾上野球場	30	新沼悟・石井章夫・木村重太郎(サポ-ト)
東海新人研修会	8/8～9	岡崎市民球場	30	棚橋祐司
東北新人研修会	9/23～24	JR東日本東北練習場	30	新沼悟・木村重太郎(サポ-ト)・多幡雄一
中国新人研修会	9/30～10/1	ツネインスタジアム	30	原則明・坂口裕之・土井善和(サポ-ト)
北信越新人&クラブ研修会	10/14～15	高岡西部総合公園野球場	34	横井信一・坂口裕之・相澤晋
九州新人&クラブ研修会	11/17～19	新日鐵住金大分野球場	30	内川義久・若林重喜・杉浦正則
東海クラブ研修会	11/18	JR東海グラウンド	30	棚橋祐司・片山純一・伊藤祐樹(サポ-ト)
関東クラブ研修会	11/23	さいたま市営浦和球場	50	筑川利希也・今村恒太

(3) 各地区クラブ大会（2017年度）の大会報告

大 会 名	期 間	球 場	チーム数	試合方式	優 勝 チ ーム	準優勝チーム
北海道地区クラブ選手権	9月2日～3日・10日	岩見沢市民・栗山町民	12チーム	トーナメント	札幌ホ-ネッツ	小樽野球協会
東北クラブカップ	9月9日～9月10日	一関運動公園・東山	8チーム	トーナメント	互大設備ダイヤモンドクラブ	HOKUTO BC
北信越クラブカップ	9月30日～10月1日	長野県営	7チーム	トーナメント	千曲川硬式野球クラブ	ロキテクノBC
関東連盟クラブ選手権	9月30日～10月1日	市営浦和・越谷市民	8チーム	トーナメント	THINKフィットネスゴールドジムABC	全足利クラブ
東海地区クラブ野球選手権	9月3日・23日・24日 11月23日・25日	三菱大府・岡崎市民 東邦ガス空見・JR東海G	17チーム	トーナメント	矢場とんブースターズ	山岸ロジスターズ
近畿クラブ会長杯	11月18日・19日・23日	NTT淀・大阪ガス今津G	8チーム	トーナメント	奈良Jメンテナン野球クラブ	泉州大阪野球団
中・四国クラブ野球選手権	9月2日・10日・24日 10月14日	アグリあなんS・東広島アクス 山口きららドーム・倉敷市営	12チーム	トーナメント	松山フェニックス	ショウワコーポレーション
九州クラブ野球選手権	10月7日～10月8日	みどりの森・佐賀市立ブルーS	8チーム	トーナメント	BAN BC	鹿児島ドリームウェーブ

以上

2018年1月11日

JABAにおけるクラブ野球運営に係る現状と課題

JABAクラブ野球活性化委員会

1. 現状

(1) チーム数の推移

		北海	東北	北信	関東	東海	近畿	中国	四国	九州	合計
2017	ク	15	69	17	77	17	39	10	2	20	266
	専	0	0	0	2	1	3	1	0	6	13
	計	16	78	21	99	31	51	18	5	34	353
2012	ク	14	71	18	79	14	37	13	3	19	268
	専	0	0	0	2	1	3	1	0	5	12
	計	16	82	22	99	28	49	21	5	33	355
2000	ク	15	81	22	62	15	19	7	2	4	227
	専	0	0	1	0	0	2	3	0	2	8
	計	21	97	26	87	31	38	21	4	13	338

(2) クラブチームが参加できる大会数

	北海	東北	北信	関東	東海	近畿	中国	四国	九州	合計
地区	1	2	1	2	0	3	1	1	0	11
都道府県	0	20	10	18	3	7	1	0	9	68
合計	1	22	11	20	3	10	2	1	9	79

※都市対抗予選、クラブ選手権予選、地区クラブ選手権は除く。

(3) 技術レベル向上策（各地区クラブチーム研修会の実施：2014～2017）

別表により過去4年間の開催状況を踏まえて以下の点について確認した。

- ・多くの地区では、各都府県単位で実施し、1年ごとに廻している。
- ・参加選手の意欲もあり、クラブチームの競技力向上の機会としては成果がある。
今後、監督・コーチも出来る限り見学してもらうよう促すべきである。
- ・開催実績のない地区には、開催促進を促す。
- ・投手コーチの派遣要請に対し、対応できない場合があるため、期日を早めに事務局に知らせることと、委員やサポートスタッフで調整できない場合には、地元地区内の企業チームコーチ経験者に要請することを確認した。

	北海	東北	北信	関東	東海	近畿	中国	四国	九州	合計
開催回数	1	4	4	4	4	2	3	0	2	20

(4) クラブチーム運営ガイドラインの制定（2014年7月17日制定）

クラブチームの運営に対し、最低限求められる事項を運営ガイドラインとして制定し、運用している。各チームの代表者や事務担当者（マネージャー）が交代してもその内容が引き継がれていくよう各地区連盟、各都道府県連盟としての指導、徹底が常に求められる。

- (5) クラブ選手権優勝チームに対する社会人野球日本選手権出場権について
事業統轄委員会で取り上げられたことを受けて、クラブ野球活性化委員会として協議した（クラブ野球活性化委員会：2017年7月開催）結果、以下の観点から日本選手権出場枠は廃止すべきではないという意見で一致している。

- ・クラブ選手権に出場するチームの競技レベルは近年、向上しており、優勝チームにおいても日本選手権出場チームとして問題はない。また、日本選手権出場を契機に運営環境は更に整備される傾向にあり、この1枠は、クラブチームの活性化に重要な位置付けである。
- ・2007年度に施行した「社会人野球制度改革」により、日本選手権の予選からクラブチームを外して、日本選手権本大会にクラブ選手権優勝枠1を設定した経緯があり、出場枠を廃止する場合には、各地区の秋のスケジュールについて、日本選手権予選にクラブチームを戻すかどうかも含めて議論する必要がある。
本委員会としては、クラブチームには、あくまで、クラブ選手権を目標に位置づけること、また、日本選手権については、クラブ選手権を制することで出場を目指してもらいたいことを確認した。

2. 課題

クラブチーム活性化の観点から、中長期的な課題として以下の項目があげられる。

(1) チーム運営組織の強化

選手が野球に打ち込める環境づくりが重要な課題であり、単に野球を楽しむだけでなく、地域貢献策の実施や大会参加に理解を得られる雇用先確保等に取り組むことができるチームを増やしていく必要がある。近年、運営組織を法人化（NPO等）させるクラブチームも増える傾向にあり、これら積極的に取り組んでいるクラブチームの情報を広く知らせることにより、他チームの運営環境の発展に繋げられる。

(2) 技術レベルの向上

チームとしては、練習球場の確保が課題である。また、各地域連盟としては、管轄のチーム数に見合った公式戦の実施、運営する体制の整備。

JABAとしては、既に実施している各地区連盟によるクラブチーム技術研修会の継続実施により成果を上げていくこと。実施していない地区にも開催するよう促していく必要がある。

(3) 普及振興（チーム数の拡大）

クラブチーム数の拡大には、各都道府県内の球場の確保や事務局運営の整備にも課題がある。また、クラブチームの運営環境も両極端であり、法人格を持って健全に運営しているレベルから、同好会レベルのチームまで幅広い。具体的な対策を講じる以前にクラス分け等の根本的な制度改革が必要である。

(4) 大会運営に係る費用及び各連盟運営

各連盟が主催する全日本クラブ野球選手権予選や地域クラブ大会の運営に係る費用は、それぞれ参加料がベースとなるが、多くの場合、都市対抗予選の収益や当該地域の企業チームからの支援により成立している。将来的には、クラブ選手権を含めてJABA全体としてのクラブ振興目的の新たな収入源が必要である。

3. まとめ

クラブチーム活性化委員会としては、クラブチームに対する振興策の実施や将来像を検討する前に、チームの運営環境によって何らかの条件付けに基づくグループ分けが必要であるとの意見で一致している。

過去に行った調査でもわかるが、参加意識の高いチームから、参加するだけで精一杯のチームまで混在している。単に、「強い・弱い」という入れ替え制（一部、二部）のようなグループ分けではなく、あくまで運営環境の向上を目的として、連盟側が求める条件（義務等）をクリアしたチームを引き上げること、例えば、参加できる大会等も差別化する。また、一方で同好会のグループには参加のハードルを下げ楽しむことに主眼を置いた大会制度の再構築を検討してはどうかとの意見があり今後の課題である。

また、専門学校チームに対する振興策や大会制度の研究に加えて、各都道府県連盟が抱える運営上の課題（特に新たなクラブチームの受け入れや球場確保等）への対策も必要である。

以上

2017年度競技力向上委員会活動報告

1. 事業の実施

(1) 情報収集活動の実施

- ・全国6エリアにそれぞれ担当者を配置し、社会人日本代表候補選手および全日本ジュニア強化合宿候補選手発掘のために、各大会や練習試合の視察等の情報収集、レポート提出を行った。

(2) 地区連盟主催企業チーム新人研修会への講師派遣（※→サポートスタッフ）

- ・各地区選出委員がチーフとなり、練習内容の作成・運営を担当。

No	期 日	地 区	新人/クラブ	会 場	参加人数	講 師
1	7/8	東北	クラブ	平川市尾上野球場	30	新沼悟、石井章夫、※木村重太郎
2	8/8～9	東海	新人	岡崎市民球場	30	棚橋祐司
3	9/23～24	東北	新人	JR 東日本東北練習場	30	新沼悟、※木村重太郎、多幡雄一
4	9/30～10/1	中国	新人	ツネイシスタジアム	30	原則明、坂口裕之、※土井善和
5	10/14～15	北信越	新人&クラブ	高岡西部総合公園野球場	34	横井信一、坂口裕之、相澤晋
6	11/17～19	九州	新人&クラブ	新日鐵住金大分明野球場	30	内川義久、若林重喜、杉浦正則
7	11/18	東海	クラブ	JR 東海グラウンド	30	棚橋祐司、片山純一、※伊藤祐樹
8	11/23	関東	クラブ	さいたま市営浦和球場	50	筑川利希也、今村恒太

※ 11/23（関東・クラブ）雨天のため中止。

(3) 中学指導者講習会への講師派遣

期 日	主管団体（参加団体）	受講人数	JABA 派遣講師
12月10日（日）	ヤング、ボーイズ、リトルシニア、フレッシュ	300名	15時05分～ 80分 村上文敏
12月17日（日）	ボーイズ、ヤング	300名	15時05分～ 80分 内川義久
1月20日（土）	ヤング	200名	15時05分～ 80分 坂口裕之
1月28日（日）	ヤング、ボーイズ、リトルシニア	400名	15時05分～ 80分 内川義久

(4) 第42回（2018年）指導者研修会

【日 時】1月13日（土）

【場 所】TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター

【参 加 者】89名（69チーム）

【内 容】本研修会は、現場の指導に携わる監督の方々の資質の向上と相互の情報交換を目的として開催している。

◆第 28 回 BFA アジア選手権

<日 程>2017 年 10 月 2 日～8 日

<場 所>台湾・新台北市

<出場チーム> 7 チーム

グループ A 韓国、チャイニーズ・タイペイ、フィリピン、スリランカ

グループ B 日本、パキスタン、香港

<予選ラウンド>

10 月 2 日 ○ 日本 30 - 0 香港

10 月 3 日 ○ 日本 13 - 1 パキスタン

<スパーラウンド>

10 月 6 日 ○ 日本 3 - 0 韓国

10 月 7 日 ○ 日本 10 - 0 チャイニーズ・タイペイ

<決勝>

10 月 8 日 ○ 日本 6 - 1 チャイニーズ・タイペイ

○アジア選手権社会人代表強化合宿

第 1 回 6 月 22 日～25 日 (JR 東日本野球部柏野球場)

第 2 回 8 月 4 日～7 日 (札幌市内)

第 3 回 9 月 26 日～29 日 (東京近郊)

◆2017 アジアウインターリーグへの選手派遣 (台湾) ※別紙参照

<日 程>2017 年 11 月 25 日～12 月 17 日

<場 所>台湾・台中市

<出場チーム> 6 チーム CPBL、KBO、NPB2 チーム (イースタン、ウエスタン)、WBSC、JABA

貴重な国際経験を積む場とし、2018 年アジア競技大会への選手選考も兼ね、38 名の選手を 2 行程に分けて派遣し、リーグ戦 17 試合、準決勝、3 位決定戦 (合計 19 試合) を行った。

また、国内でのジュニア強化合宿は中止し、アジアウインターリーグと兼ねることとした。

以上

2017年度規則・審判委員会活動報告

1. 委員会の開催

11月29日、1月17日（小委員会）

2. 事業の実施

（1）全国審判講習会の実施

【日 時】2018年2月10日～12日

【場 所】四国コカコーラ・ボトリングスタジアム丸亀

【受講生】57名

（2）審判員講師の各地派遣

各地区連盟、各都道府県連盟、各傘下団体にて開催している審判講習会において、講師（インストラクター）を派遣し、費用（講師費＋交通費）1名分を負担した。

3. 協議事項（まとめ）

（1）JABA主催大会の審判体制

第88回都市対抗、第43回日本選手権、第42回クラブ選手権における審判員体制について、協議した。

（2）公認野球規則等の取扱について

公認野球規則並びにアマチュア野球内規の改正及び通達を受けてのJABAとしての取扱について協議した

（3）公認野球規則改正について

①2018年度 公認野球規則及びアマチュア野球内規の改正

※別紙参照

②BFJアマチュア野球規則委員会通達およびJABAとしての取扱

※別紙参照

以上

2018年1月29日

2018年度 野球規則改正



日本野球連盟

(1) 3. 01【欽式注】を次のように改める。

① 「A号」を「M号」と改め、その重量を「136.2g～139.8g」、反発を「70g～80g」とし、「20%圧縮荷重」「32g～40g」を追加する。

② 後段の末尾に次を追加する。

M号の20%圧縮荷重は、ボール直径を20%つがしたときの力を認る。

(2) 3. 10の見出しを「競技場内の用具」に改め、従来の本文を(a)とし、次の(b)を追加する。

(b) シフトを取るために、野手の守備位置を示す、いかなる印も競技場内につけてはならない。

(3) 5. 03 (b)、同ペナルティ、【5. 03原注】を次のように改める。

(b) ベースコーチは、各チーム特に指定された2人に限られ、そのチームのエキフオーンを着なければならぬ。

(c) ベースコーチは、本規則に従いコーチスボックス内にとどまらなければならない。ただし、コーチが、プレーヤーに「進め」「戻れ」とシグナルを送るために、コーチスボックスを離れて、自分の受け持ちのベースで指示することは、プレイを妨げない限り許される。ベースコーチは、用具の交換を除き、特にサイン交換がなされている場合には、走者の身体に触れてはならない。

ペナルティ コーチは、打球が自分を通過するまで、コーチスボックスを出て、本塁寄りおよびフェア地域寄りに立っていない限りはならない。相手チーム監督の異議申し出があったら、審判員は、規則を厳しく適用しなければならぬ。審判員は、そのコーチに警告を発し、コーチスボックスに戻るよう指示しなければならぬ。警告にもかかわらず、コーチがコーチスボックスに居なければ、そのコーチは試合から除かれる。加えて、リーグ会長が制裁を科す対象となる。

(4) 5. 04 (b) (2)【原注】の4段目冒頭「以下はメジャーリーグだけで適用される【原注】の追加事項である。」を削除し、5段目末尾の「5. 04 (b) (4) (A) に抵触する場合、審判員は自動的にストライクを宣告する。」を次のように改める。

打者のこのような行為は、バッターボックススローの違反として扱い、5. 04 (b) (4) (A) に定められたペナルティを適用する。

(5) 5. 04 (b) (4) (A) 後段末尾に次を追加する。

メジャーリーグでは、当該試合におけるその打者の2度目以降の違反に対して、投手が打球をしなくても球審はストライクを宣告する。この際、ボールデッドで、走者は進塁できない。

(6) 5. 05 (b) (1)【原注】前段冒頭の文を次のように改める。(下線部を追加)

監督からのシグナルを得て審判員より一塁を与えられた打者を含む、ボール4個を得て一塁への安全進塁権を得た打者は、一塁へ進んでかつこれに触れなければならない義務を負う。

(7) 5. 06 (b) (4) (H)【規則説明】を次のように改める。

投手の打球が捕手を通じた後（捕手が触れたかどうかを問わない）、ダッグアウト、スタンドなどボールデッドの箇所に入った場合、および投手板に触れている投手が走者をアウトにしようと試みた送球が直後前記の箇所に入った場合、1個の塁が与えられる。しかしながら、打球または送球が、捕手または他の野手を通じた後、プレイングフィールド内にあるボールを捕手または野手が触ったり、捕手または野手にさらに触れたりして、前記の箇所に入った場合は、打球当時または送球当時の走者の位置を基準として2個の塁が与えられる。

(8) 5. 06 (b) (4) (I)【注】を次のように改める。(下線部を追加)

打者の頭部または三塁塁上の投手の打球が、(H)項【規則説明】後段の状態になったときは、打者にも二塁が与えられる。

(9) 5. 07 (a)【原注】の末尾に次を追加する。

投手は打球に際して本塁の方向に2度目のステップを踏むことは許されない。塁に走者がいるときには、6. 02 (a)によりボールが宣告され、走者がいないときには、6. 02 (b)により反則打球となる。

(10) 5. 07 (a) (2)【原注】の末尾に次を追加する。

塁に走者がいるときに、投手が投手板に軸足を並行に触れ、なおかつ自由な足を投手板の前方に置いた場合には、この投手はセットポジションで打球するものとみなされる。

(11) 5. 08 (b) 【原注】冒頭の「本項は、記述されているとおりに取り扱われるべきである。」を削除する。

(12) 【5. 09 c 原注】の冒頭に次を追加する。

2人の走者がほぼ同時に本塁に達し、前位の走者が本塁を空過、しかし後位の走者が本塁に触れていた場合、前位の走者はタッグまたはアピールされればアウトになる。それが第3アウトにあたる場合、後位の走者の得点は5. 09 (d) により認められない。

(13) 5. 09 (c) に次の【注2】を追加し、以下順次繰り下げる。

【注2】 投手または野手のアピールのための送球がボールデッドの箇所に入った場合、それはアピールの企てとみなされ、アピール権は消滅する。したがって、その後、いずれの塁、いずれの走者に対するアピールは許されない。

(14) 5. 10 (d) 1段目を次のように改める。(下線部を追加)

いったん試合から退いたプレーヤーは、その試合に再出場することはできない。すでに試合から退いたプレーヤーが、何らかの形で、試合に再出場しようとしたり、または再出場した場合、球審はその不正に気付くか、または他の審判員あるいはいずれかのチームの監督に指摘されたら、ただちに当該プレーヤーを試合から除くよう監督に指示しなければならない。その指示がプレイの開始前になされたときは、退いたプレーヤーに代わって出場していきべきプレーヤーの出場は認められる。しかし、その指示がプレイの開始後になされたときは、すでに試合から退いているプレーヤーを試合から除くと同時に、退いたプレーヤーに代わって出場していきべきプレーヤーも試合から退いたものとみなされ、試合に出場することはできない。プレーヤー兼監督に限って、控えるプレーヤーと代わってラインアップから退いても、それ以後コーチスボックスに出て指揮することは許される。

(15) 5. 10 (d) 【原注】の末尾に次を追加する。

すでに試合から退いているプレーヤーが試合に出場中に起こったプレイは、いずれも有効である。プレーヤーが試合から退いたことを知っていないが再出場したと審判員が判断すれば、審判員は監督を退場させることができる。

(16) 6. 01 (b) 【注2】の文を同 (d) 【原注】の末尾に移動し、同 (b) 【注1】を同 (b) 【注】とする。

(17) 6. 01 (h) (1) 【付記】末尾の「この規定に違反したとみなされる捕手に対しては、審判員は必ずオプストラクションを宣告しなければならない。」を削除する。

(18) 6. 02 (c) (9) 【原注】の冒頭に次を追加する。

チームのメンバーは、本項によって発せられた警告に対し抗議したり、不満を述べたりするためにグラウンドに出てくることはできない。もし監督、コーチまたはプレーヤーが抗議のためにタッグアウトまたは自分の場所を離れば、警告が発せられる。警告にもかかわらず本塁に近づけば、試合から除かれる。

(19) 9. 14 (d) を追加する。

(d) 守備側チームの監督が故意四球とする意思を暗示に示して、打者が一塁を与えられたときには、故意四球が記録される。

(20) 定義7を次のように改める。(下線部を追加)

打者が打撃中にボール4個を得るか、守備側チームの監督が打者を故意四球とする意思を審判員に示し、一塁へ進むことが許される裁定である。守備側チームの監督が審判員に故意四球の意思を伝えた場合 (この場合はボールデッドである)、打者には、ボール4個を得たと同じように、一塁が与えられる。

(21) 定義38の【注】を削除する。

以上

アマチュア野球内規（2018年）

（※下線部が変更箇所）

序

この内規集は、公認野球規則適用上のアマチュア野球規則委員会の統一解釈を収録したもので、公認野球規則と同等の効力を持つものである。

なお、この内規は、2018年のルールに基づいたものであり、今後ルール改正があれば、適用上の解釈にも変更が加えられるかもしれないことをお断りしておく。

2018年2月

一般財団法人全日本野球協会
アマチュア野球規則委員会

目次

- ① 次回の第1打者
- ② バッタースボックスルール
- ③ ワインドアップポジションの投手
- ④ 最終回裏の決勝点
- ⑤ 2アウト、四球暴投、決勝点で打者一塁へ進まず
- ⑥ アウトの時機
- ⑦ アピールの場所と時期
- ⑧ 審判員がインプレイのとき使用球を受け取る
- ⑨ 打者の背後にウエストボールを投げる
- ⑩ 危険防止（ラフプレイ禁止）ルール
- ⑪ 投手の遅延行為
- ⑫ 打球する手を口または唇につける
- ⑬ 正式試合となる回数

① 次回の第1打者

たとえば2アウト、打者のボールカウント1ボール2ストライク後の打球のときに、三塁走者が本塁を企てたが得点とならないで攻守交代になったような場合、次回の第1打者を明らかにするため、球審は、打者が三振でアウトになったのか、走者が触球されてアウトになったのかを明示しなければならない。（規則 5.04 a（3）、5.09 a（14））

② バッタースボックスルール

（1）打者は打撃姿勢をとった後は、次の場合を除き、少なくとも一方の足をバッタースボックス内に置いていなければならない。この場合は、打者はバッタースボックスを離れてもよいが、「ホームプレート」を囲む土の部分を出てはならない。

- 1）打者が打球に対してバットを振った場合。
 - 2）チェックスイングが塁審にリクエストされた場合。
 - 3）打者が打球を避けてバランスを崩すか、バッタースボックスの外に出ざるを得なかった場合。
 - 4）いずれかのチームのメンバーが「タイム」を要求し認められた場合。
 - 5）守備側のプレーヤーがいずれかの塁で走者に対するプレイを企てた場合。
 - 6）打者がバントをするふりをした場合。
 - 7）暴投または捕逸が発生した場合。
 - 8）投手がボールを受け取った後マウンドの土の部分から離れた場合。
 - 9）捕手が守備のためのシグナルを送るためキャッチャースボックスを離れた場合。
- （2）打者は、次の目的で「タイム」が宣告されたときは、バッタースボックスおよび「ホームプレート」を囲む土の部分、を離れることができる。

- 1）負傷または負傷の可能性がある場合。
 - 2）プレーヤーの交代
 - 3）いずれかのチームの協議
- なお、審判員は、前の打者が塁に出るかまたはアウトになれば、速やかにバッタースボックスに入るよう次打者に促さなければならない。
- ベナリティ（1）・（2）

打者が意図的にバッタースボックスを離れてプレイを選らせ、かつ（1）の1）～9）の例外規定に該当しない場合、または、打者が意図的に「ホームプレート」を囲む土の部分、を離れてプレイを選らせ、かつ（2）の1）～3）の例外規定に該当しない場合、球審は、その試合で2度目までの違反に対しては警告を与え、3度目からは投手の打球を待たずにストライクを宣告

する。この場合はボールデッドである。

もし打者がバックスボックスまたは「ホームブレイク」を囲む土の部分の外にとどまり、さらにブレイクを遅延させた場合、球審は投手の投球を待たず、再びストライクを宣告する。

なお、球審は、再びストライクを宣告するまでに、打者が正しい姿勢をとるための適宜な時間を認める。(規則 5.04 b (4)(A)、同(B))

③ ワインドアップポジションの投手

ワインドアップポジションをとった右投手が三塁（左投手が一塁）に踏み出して送球することは、投球に関連した足の動きをして送球したとみなされるから、ボークとなる。

投手が投球に関連する動作をして両手を合わせた後、再び両手をふりかぶることは、投球を中断または変更したものとみなされる。投球に関連する動作を起こしたときは、投球を完了しなければならない。(規則 5.07 a (1))

④ 最終回裏の決勝点

正式試合の最終回裏の裏かまたは延長回の裏に、規則 6.01(g)規定のブレイド三塁走者に本塁が与えられて決勝点になる場合には、打者は一塁に進む義務はない。(規則 5.08 b、6.01 g)

⑤ 2アウト、四球暴投、決勝点で打者一塁へ進まず

最終回裏、走者三塁、打者の四球（フォアボール）目が暴投または捕逸となつて決勝点が記録されるとき、四球の打者が一塁へ進まなかった場合は、規則 5.08(b)のように球審が自ら打者のアウトを宣告して、得点を無効にすることはできない。

打者が一塁に進まないまま、守備側が何らの行為もしないで、両チームが本塁に整列すれば、四球の打者は一塁へ進んだものと記録される。

打者をアウトにするためには、両チームが本塁に整列する前に守備側がアピールすることが必要である(規則 5.09(c) [5.09 c 原注] [注 2])。しかし、守備側がアピールしても、打者は一塁への安全進塁権を与えられているので、打者が気づいて一塁に到達すれば、アピールは認められない。

守備側のアピールを認めて打者をアウトにする場合は、

- 1) 打者が一塁に進もうとしないとき
 - 2) 打者が一塁に進もうとしたが途中から引き返したとき
- である。(規則 5.08 b、5.09 c [5.09 c 原注] [注 2])

⑥ アウトの時機

アウトが成立する時機は、審判員が宣告したときではなくて、アウトの事実が生じたときである。第3アウトがフォースアウト以外のアウトで、そのアウトにいたるブレイク中に走者が本塁に達するときなどのように、状況によっては速やかにアウトを宣告しなければならない。(規則 5.08 a [注 1])

⑦ アピールの場所と時期

守備側チームは、アピールの原因となった塁（空過またはリタッチの失敗）に触球するだけでなく、アピールの原因でない塁に進んでいる走者の身体に触球して、走者の違反を指摘して、審判員の承認を求める（アピール）ことができる。この場合、アピールを受けた審判員は、そのアピールの原因となった塁の審判員に裁定を一任しなければならない。

アピールは、ボールインプレイのときに行わなければならないので、ボールデッドのときにアピールがあった場合は、当該審判員は「タイム中だ」ということとする。(規則 5.09 c)

ただし、最終回の裏ボールデッド中に決勝点が記録された場合、または降雨等で試合が中断され、そのまま試合が再開されない場合、ボールデッド中でもアピールはできるものとする。

⑧ 審判員がインプレイのとき使用球を受け取る

3アウトと勘がいった守備側が、使用球を審判員に手渡したのを審判員が受け取った場合は、規則 6.01(d)を準用する。審判員が使用球を受け取ると同時にボールデッドとし、受け取らなかったらどのような状態になったかを判断して、ボールデッド後の処置をとる。また、ベースコーチが同様のケースで試合球を受け取った場合も、受け取ると同時にボールデッドとするが、走者はボールデッドになったときに占有していた塁にとどめる。(規則 6.01 d)

⑨ 打者の背後にウェストボールを投げる

投手がスクイズブレイクを防ぐ目的で、意図的に打者の背後へ投球したり、捕手が意図的に打者の背後に飛び出したところへ投球したりするような非スポーツマン的な行為に対しても規則 6.01(g)を適用し、走者には本塁を与え、打者は打撃妨害で一塁へ進ませる。(規則 6.01 g)

⑩ 危険防止（ラフブレイク禁止）ルール

本規則の趣旨は、フェアブレイクの精神に則り、プレーヤーの安全を確保するため、攻撃側および守備側のプレーヤーが意図的に相手に対して体当たりあるいは乱暴に接触するなどの行為を禁止するものである。

1. タッグブレイのとき、野手がボールを明らかに保持している場合、走者は（たとえ走路上であって）野手を避ける、あるいは減速するなどして野手との接触を回避しなければならない。

- 1) 野手との接触が避けられた
 - 2) 走者は野手の落球を誘おうとしていた
 - 3) 野手の落球を誘うため乱暴に接触した
- と審判員が判断すれば、その行為は故意とみなされ、たとえ野手がその接触によって落球しても、走者にはアウトが宣告される。ただちにボールデッドとなり、他の走者は妨害発生時に占有していた塁に戻る。なお、走者の行為が極めて悪質な場合は、走者は試合から除かれる場合もある。（規則 6.01 i (1)）

2. 次の場合には、たとえ身体の一部が塁に向かっていても、走者には妨害が宣告される。

- (1) 走者が、ベースパスから外れて野手に向かって滑ったり、または走ったりして野手の守備を妨げた場合（接触したかどうかを問わない）。

《走者は、まっすぐベースに向かって滑らなければならない、つまり走者の身体全体（足、脚、腰および腕）が塁間の走者の走路（ベースパス）内に留まることが必要である。ただし、走者が、野手から離れる方向へ滑ったり、走ったりすることが、野手との接触または野手のブレイクの妨げになることを避けるためであれば、それは許される。》

- (2) 走者が体を野手にぶつけたりして、野手の守備を妨害した場合。
- (3) 走者のスライディングの足が、立っている野手の膝より上に接触した場合および走者がスバイクの刃を立てて野手に向かってスライディングした場合。
- (4) 走者がいずれかの足で野手を払うか、蹴った場合。
- (5) たとえ野手がブレイを完成させるための送球を企てていなくても、走者がイリーガーに野手に向かってスライドしたり、接触したりした場合。

ペナルティ (1) ~ (5)

- 1) フォースブレイのときの1アウトまたは1アウトの場合、妨害した走者と、打者走者にアウトが宣告される。すでにアウトになった走者が妨害した場合は、守備側がブレイを試みようとしている走者にアウトが宣告される。ただちにボールデッドとなり、他の走者は妨害発生時に占有していた塁に戻る。
- 2) フォースブレイのときの2アウトの場合、妨害をした走者にアウトが宣告され、ただちにボールデッドとなり、他の走者は進塁できない。
- 3) タッグブレイの場合、妨害をした走者にアウトが宣告され、ただちに

ボールデッドとなり、他の走者は妨害発生時に占有していた塁に戻る。
4) 走者のスライディングが極めて悪質な場合は、走者は試合から除かれる場合もある。（規則 5.09 b (3)、6.01 i (1)、6.01 j）

3. タッグブレイのとき、捕手または野手が、明らかにボールを持たずに塁線および塁上に位置して、走者の走路をふさいだ場合は、オブストラクションが厳格に適用される。

なお、捕手または野手が、たとえボールを保持していても、故意に足を塁線または塁上に置いたり、または脚を横倒しにするなどして塁線または塁上に置いたりして、走者の走路をふさぐ行為は、大変危険な行為であるから禁止する。同様の行為で送球を待つことも禁止する。このような行為が繰り返されたら、その選手は試合から除かれる場合もある。

ペナルティ

捕手または野手がボールを保持して、上記の行為で走者の走路をふさいだ場合、正規にタッグされればその走者はアウトになるが、審判員は捕手または野手に警告を発する。走者が故意または意図的に乱暴に捕手または野手に接触し、そのためたとえ捕手または野手が落球しても、その走者にはアウトが宣告される。ただちにボールデッドとなり、他の走者は妨害発生時に占有していた塁に戻る。（規則 6.01 h、6.01 i (2)）

⑬ 投手の遅延行為

走者が塁にいるとき、投手が投手板から軸足をはずして、走者のいない塁に送球した（送球するマネも含む）場合、または、投手板上からでも軸足を投手板からはずしても、塁に入ろうとしない野手に送球した場合には、投手の遅延行為とみなす。（規則 6.02 a (4)、6.02 a (8)、6.02 c (8)）

⑭ 投球する手を口または唇につける

規則 6.02 (c) (1) のペナルティに代えて、審判員はその都度警告してボールを交換させる。（規則 6.02 c）

⑮ 正式試合となる回数

審判員が試合の途中で打ち切りを命じたときに正式試合となる回数については、規則 7.01 (c) に規定されているが、各種大会などでは、この規定の適用に関して独自の特別規則を設けることができる。

大会によっては、一定以上の得点差、たとえば、5回10点差、7回以降7点差など、得点差によってコールドゲームとし、正式試合とする特別規則もある。（規則 7.01 c）

BFJ・アマチュア野球規則委員会通達事項の概要 並びにJABAとしての取り扱いについて

BFJ(全日本野球協会)アマチュア野球規則委員会は、2018年度における野球競技規則に関する協議を受けて、アマチュア野球関係団体に対し通達文を発出した。通達文の概要は以下のとおり。

■反則投球の取り扱い

今年度の改正では、国際基準に合わせて、定義38の反則投球(UNLAWFUL PITCH)に関する[注]が削除されることになった。
これにより、いわゆる「二段モーション」といわれる投球動作に対し、**「走者がいないときにペナルティを課することがなくなる。つまり、走者がいない場合に違反しても、これまでのように「ボール」を宣告されることはない。」**

また、MLBやWBSCの国際大会において、「二段モーション」が反則投球とされないのは、定義38の[注]が英文の規則書にはないことが、一つの大きな理由である。さらに、諸外国では「二段モーション」のような動作が、威力のある強い投球をするためには理にかなっていないと考えられていることも理由のひとつ。

一方、我が国における「二段モーション」の始まりは、何とかして「打者のタイミングを外そう」、「打者を迷惑しよう」とする投球動作が、あるためである。マナー面の問題としても許されない動作を規制するにあたって当時の規則委員会では、日本独自の「注」を設けて、今まで対応してきたため、現在では打者側に不利な注を与えるような問題はなくなってきた。現在では、ナチュラルな投球動作とは言えず「二段モーション」と言われる動作が根絶されていないことは事実である。

今回の改正により、走者がいない場合にペナルティを課されることはなくなり、これまでしばしば問題となっていた、「反則投球」とする基準が不明確に、「大会によって運用がまちまち等」の混乱はなくなるはずである。

※削除される公認野球規則「定義38の[注]」

[注]「投手が5.07(a)(1)および(2)に規定された投球動作に違反して投球した場合も、反則投球となる。」

■ベンチ前のキャッチボール等の禁止について

公認野球規則5.10(k)において、「試合中、両チームのプレーヤーは、実際に競技にたずさわっている者のほかには、ベースコーチ、次打者以外にはベンチに入っていないといけない。」と規定されており、国際大会などではこの規則が厳格に運用されている。また、我が国では以前から各団体の内規等で、試合中であっても投手や野手ベンチ前でキャッチボールを行うことが許可されているため、2アクトになるとベンチ前でキャッチボールを始めることが通例となっている。アマチュア野球規則委員会では、プロ側とも協議して、東京オリンピックを2年後に控えたこの機会に規則の厳格運用を目指すことに合意した。

本来なら、プロを含めた日本の野球界で一斉に実施したいところであるが、長年の習慣として定着していること、また、使用する球場

設備等の問題や諸事情があることを勘案して、実施時期は各団体に一任とするが、遅くとも2020年のシーズンまでには完全実施できるよう理解と協力をお願いする。

■「ミットを動かすな」運動の展開について

投球を受けた捕手が「ボール」をストライクに見えよとする意図でキャッチャーミットを動かしたり、球審のコールを待たず自分ストライクと判断して次の行動に移ろうとしたことは、「審判員の判定を揺るがしたり、審判員を侮辱する行為に相当する」として、2009年にアマチュア野球規則委員会からの通達として、そのような行為を止めざる運動を展開している。

しかしながら、この運動が徹底されているとは言えない現状である。改めて、今一度下記のような行為について、マナーアップ・フェアプレイの両面から止めざる運動を継続して指導するよう一層の徹底、ご指導をお願いする。

- (1)捕手が投球を受けたときに意図的にミットを動かすこと。
 - (2)捕手が自分でストライク・ボールを判断するかのような行動をとること。
 - (3)球審の「ボール」の宣告にあたり、捕手が示すように、しばしばミットをその場に置いておくこと。
- なお、昨年3月に行われた2017 WORLD BASEBALL CLASSIC™において日本代表の球審を担当した複数の外国人審判からは、ミットを動かすこと、捕手の膝を動かす行為(ボール・ムーブメント)から遠い、まわりの低めの投球が「ボール」に見えるなどの指摘があったこと。打撃妨害や外国選手のスイングの振り戻しなどに対応するための位置取りと思われるが判定に不利になるのであれば無視できない問題である。上記3点の行為と同様、ご指導をお願いする。

■没収試合の防止に向けて

没収試合は、規則4.07[注1]に記載のとおり、審判員がとるべき最終手段であり、安易に適用されるべきものではなく、大会主催者や当該チーム及び担当審判員が十分注意をすれば最悪の事態は避けられる。これまでは「登録外選手が試合に出場し、これがプレイ後に判明したときは、大会規定により試合中であれば没収試合とし、試合後であればそのチームの勝利を取り消し、相手チームに勝利を与える。」となっていたが、以下のように変更する。

- 登録外選手が、自チームの所属以外の選手であった場合に適用することとする。
- 単純なミスの場合(監督とマネージャーの連絡ミスで、登録外選手が自チームの所属選手である場合など)には適用しない。
- 試合中に判明した場合は、その時点でメンバー表に記載されている選手に交代させ試合を継続する。それ以前の当該選手のプレイはすべて有効とする。
- 試合後に判明した場合でも、当該選手のプレイはすべて有効とし、適用されない。

JABAとしての取り扱い

BFJアマチュア野球規則委員会の通達文を受けて、JABAとしての取り扱いは以下のとおり。
■反則投球について 走者が塁にいる場合、以下の事例はボークとなる(変更なし)。

	事 例	罰 則
1	ストレッチをしようとする動作を開始したが、途中でやめた。	ボーク
2	ストレッチの途中でいったん動作が止まったが、そのまま両手を合わせてセットポジションをとった。	ボーク
3	投球動作を開始して自由な足を上げたが、途中でやめて投球しなかった。	ボーク
4	投球動作を開始して自由な足を上げ、いったん動作が止まったが、そのまま投球した。	ボーク
5	投球動作を開始して自由な足を上げ、いったん動作が止まったが、そのまま塁に送球した。	ボーク
6	投球動作を開始して、自由な足を上げ下げして、そのまま投球した。	ボーク
7	投球動作を開始して、自由な足を上げ下げしてから、塁に送球した。	ボーク

社会人野球においては「日本流二段モーション」は正しい投げ方ではないという前提があり、公認野球規則では「二段モーション」という言葉自体もない。このことから公認野球規則で「one continuous motion(一連の動作)」の解釈を難しくしている。今回の改正においても、「日本流二段モーション」をなくすことに変わりはない。

■「ミットを動かすな」運動の展開について

P10の記載のとおり取り扱う。

■没収試合防止に向けて

P10の記載のとおり取り扱う。

■2018年度規則改正事項

正式な通知をもって、通達する。JABAニュース次号に掲載。
【広報予定日2018年1月29日(月)】

延長回に関わる特別規則(タイブレーク) 2018年度よりタイブレークは以下のとおりとする。

社会人野球では、各大会の規約・申し合わせ等の定めにより次の「延長回に関わる特別規則(タイブレーク)」を適用することができる。

- (1)延長回に関わる特別規則(タイブレーク)
 - ①各大会規約等により定められた回の攻撃を完了し、両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、**無死走者一塁**の状態から行うこととする。
 - ②打者は、**前回正規に打撃を完了した打者の次の打順**のものである。
 - ③この場合の走者は、**前項による打者の前の打順のものが一塁走者、一塁走者の前の打順のものが二塁走者となる。**
 - ④この場合の代打及び代走は認められる。

- (2)チーム及び個人記録
チーム及び個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意することとする。
 - ①投手成績
 - ・規定により出塁した**2走者**は、投手の自責点とはしない。
 - ・完全試合は認めない。
 - ・無安打無得点試合は認めない。
 - ②打撃成績
 - ・規定により出塁した**2走者**の出塁の記録はないものとす。
 - ・ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁等は記録する。
 - ・規定により出塁した**2走者**を絡めた打点、併殺打などはすべて記録する。

2018年度 公認野球規則改正等について

2018年度における公認野球規則並びにアマチュア野球内規の改正が発表されました。公認野球規則では21項目、アマチュア野球内規では1項目が改正となっていますが、JABAニュースでは、特に「監督の申告による故意四球」の扱いについて解説します。他の項目については、JABA公式サイトをご参照ください。また、その他の規則改正とJABAとしての取り扱いについては、JABAニュース2月号に掲載していますので、ご参照ください。

【故意四球について】

・改正内容

☆9.14(d)を追加する。

(d)守備側チームの監督が故意四球とする意思を球審に示して、打者が一塁を与えられたときには、故意四球が記録される。

☆定義7を次のように改める。(下線部を追加)

【改正後】

打者が打撃中にボール4個を得るか、守備側チームの監督が打者を故意四球とする意思を審判員に示し、一塁へ進むことが許される裁定である。守備側チームの監督が審判員に故意四球の意思を伝えた場合(この場合はボールデッドである)、打者には、ボール4個を得たときと同じように、一塁が与えられる。

【改正前】

打者が打撃中にボールを4個得て、一塁へ進むことが許される裁定である。

守備側が、本項目に則り現打者を故意四球にしようとする場合、監督は、選手の交代を告げる時と同様に球審に対し、その意向を伝えるなければならない。監督から故意四球の申告を受けた球審は、プレーを止め、ボールデッド(タイム)を宣言し、打者に四球を宣告、一塁ベースに進むよう促すことになる。また、公式記録員は、当該打者の出塁を「故意四球(IB)」とし、実際に投じられた球数を記録する。つまり、1球も投じられなかった場合の投球数は「0」である(投手には打者数「1」も記録)。



監督が球審に申し、1球も投がない敬遠四球が今季から見られるかもしれない＝毎日新聞社提供

社会人野球としては、東京オリンピックが行われる2020年に向けて、国内でしか通用しないルールや慣習等を改めて、野球本来の規則に則って試合をしようとする国内各野球団体としての大前提を受けて、本年度から出来る限り適用することとしています。

プロ野球をはじめ関係団体では、時間をかけて周知させようとする動きもある中で、特にインプレイ中のグラウンド内でのキャッチボールの禁止など社会人野球では不退転の決意を持って本年度からの適用について関係者に理解と協力を呼びかけています。

今号では、問合せが多かった「投手の反則投球」と「インプレイ中のグラウンド内でのキャッチボール」について、以下のとおり解説します。ご参照ください。

【投手の反則投球に関するプロとアマチュアでの解釈の相違点】

走者がいない場合、以下のケースは、プロ(NPB)においてもアマチュア(社会人野球も含む)においても、反則投球とはならないが、走者がいる場合には取り扱いが異なる。

・投球動作を開始して、自由な足を上げ下げして、そのまま投球した。

アマチュアでは「ボークとなる」が、NPBではその投手の固有のフォームとして「ボークは宣告しない」。

【インプレイ中のグラウンド内(ブルペンを除く)でのキャッチボール】

長年、日本だけの慣習として国内の多くの野球団体が容認してきたが、公認野球規則「5.10(k)試合中、両チームのプレーヤーは、実際に競技にたずさわっている者のほかには、ベースコーチ、次打者以外はベンチに入っていないなければならない」の規定により、本来、公式な野球の試合ではありえない事象である。ちなみに国際大会に出場する日本代表チームの選手は常に対応している。

今回のアマチュア野球規則委員会からの通達を受けて、JABAとしては、本年度のシーズンから本来の規則どおりに扱うこととし、全ての試合においてインプレイ中のグラウンド内でのキャッチボールは容認しないことを決めた。

プロ野球や他の団体の試合では本年もまだ目にするケースもあると思われるが、JABAの試合を観戦される際に少しでも注目していただくのはいかがでしょうか。

なお、今年国内で行われる国際大会や2020年の東京オリンピックの試合ではルールどおり取り扱われる。

JABAが実施する措置について

BFJアマチュア野球規則委員会からの通達を受けてJABAとしての取り扱いは前号で記載したが、マスコミ報道等でわかるように日本のプロ野球や他の野球団体との間で一部相違点があります。